

江南市戦略計画策定に係る
市民意向調査 報告書

平成18年6月

江南市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 - 1 本調査の考え方	1
1 - 2 調査項目	1
1 - 3 調査方法	1
1 - 4 グラフ等の見方	2
第2章 調査結果	3
2 - 1 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢構成	3
(3) 居住地域	4
(4) 家族構成	4
(5) 職業	5
(6) 居住年数	5
2 - 2 定住意識	6
(1) 住みやすさ	6
(2) 定住意向	7
(3) 転居理由	8
2 - 3 設問項目の優先性に対する意向	11
(1) 現状の充足度・今後の重要度の分析	11
(2) 設問項目の対策必要度の分析	21
(3) ポートフォリオ分析	23
2 - 4 江南市の将来の姿について	29
(1) 経済発展のあり方について	29
(2) 人口政策のあり方について	32
(3) 公共サービスのあり方について	34
(4) まちづくりのあり方について	37
(5) 今後の地域運営における市民の役割について	39
2 - 5 広報こうなんについて	40
2 - 6 市のホームページについて	42
(1) インターネット接続状況	42
(2) 市ホームページの閲覧状況	43
(3) 市ホームページの興味項目	43
2 - 7 交通災害共済制度について	44
(1) 交通災害共済制度の認知度	44
(2) 交通災害共済制度の加入の有無	44
(3) 交通災害共済制度の存続	44
2 - 8 自由意見について	45
第3章 調査のまとめ	47
巻末資料	54
資料1：自由意見の整理	54
資料2：調査票	87

第1章 調査の概要

1 - 1 本調査の考え方

本市では、平成8年3月に「第4次江南市総合計画」を策定し、これに基づいた計画的なまちづくりを進めてきました。

しかし、この計画の目標とする期間が平成19年までであること、また、この10年近くの間社会経済情勢が大きく変化していることから、新たな計画づくりが必要となってきました。

そこで、本調査は、次期総合計画としての「江南市戦略計画」策定の基礎資料とするため、広く市民が考える「江南市の現状と将来のあるべき姿」を把握することを目的に実施しました。

1 - 2 調査項目

調査は、回答者の属性・定住意向を尋ねる問1から問4、江南市の理想的な姿を表す45項目について、「現状の充足度」と「今後の重要度」を各5段階で尋ねる問5、江南市の将来の姿について尋ねる問6から問10、現在実施中の行政サービスについて尋ねる問11から問13、および自由意見から構成しています。

1 - 3 調査方法

調査対象

平成18年1月1日現在、江南市に居住する満18歳以上の方から、無作為で3,000人を抽出しました。

調査区域

調査対象の居住区域は、市内全域としました。

配布・回収方法

調査票は対象者各人宛てに郵送配布し、郵送回収としました（一部は直接持参により回収）。

調査時期

調査期間は、平成18年4月3日（月）～4月21日（金）としました。

回収数

本調査の回収率は、以下のとおりです。

配布数	回収数	回収率
3,000 部	1,378 部	45.9%

1 - 4 グラフ等の見方

複数回答の場合は、構成比ではなく、回答数で表示しています。

無回答の構成比、または回答率がゼロ（0%）のものについては、グラフを見やすくするために表示を省略している場合があります。

性別、年齢構成、同居家族、職業、居住年数によりクロス集計する場合、各項目での無回答の件数を除いていますので、その合計は回収数と一致しない場合があります。図表中の文言は、省略している場合があるため、必要に応じて巻末の調査票を参考にしてください。

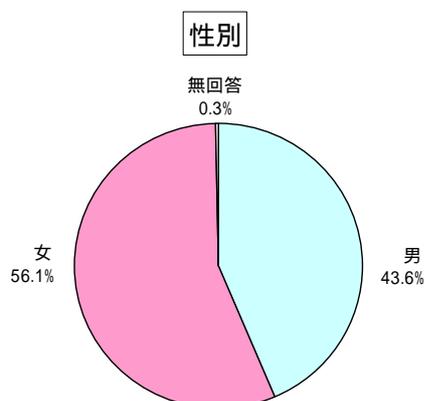
第2章 調査結果

2-1 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男」43.6%、「女」56.1%となっており、女性の割合がやや多くなっています。

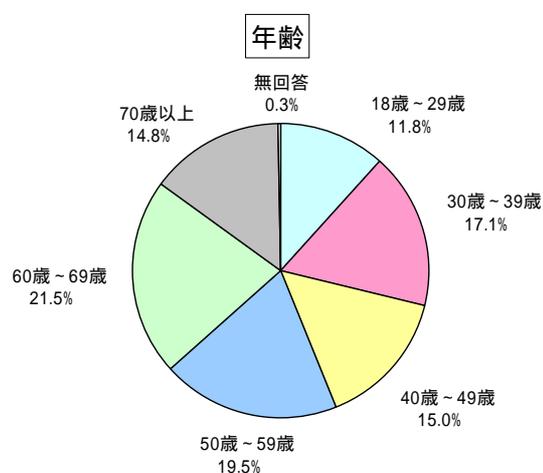
性別	回答数	構成比
男	601	43.6%
女	773	56.1%
無回答	4	0.3%
合計	1,378	100.0%



(2) 年齢構成

回答者の年齢構成は、「60歳～69歳」の割合が一番多く21.5%、次いで「50歳～59歳」の19.5%、「30歳～39歳」の17.1%になっています。

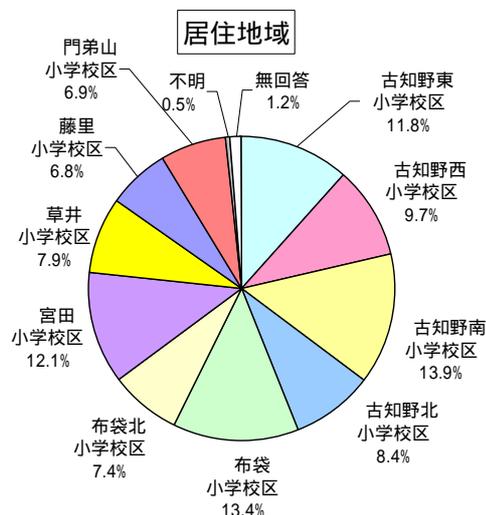
年齢層	回答数	構成比
18歳～29歳	163	11.8%
30歳～39歳	236	17.1%
40歳～49歳	207	15.0%
50歳～59歳	269	19.5%
60歳～69歳	296	21.5%
70歳以上	203	14.8%
無回答	4	0.3%
合計	1,378	100.0%



(3) 居住地域

回答者の居住地区は、「古知野南小学校区」の割合が一番多く13.9%、次いで「布袋小学校区」が13.4%になっています。

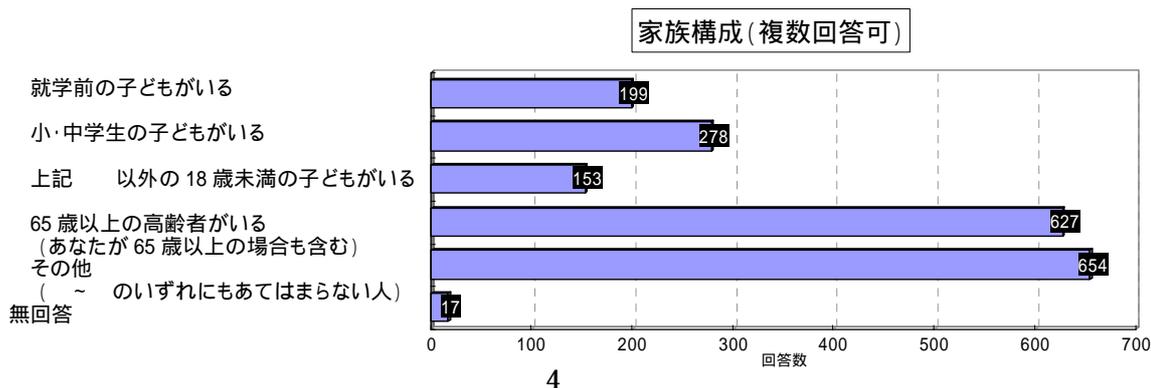
居住地域	回答数	構成比
古知野東小学校区	163	11.8%
古知野西小学校区	134	9.7%
古知野南小学校区	192	13.9%
古知野北小学校区	115	8.4%
布袋小学校区	185	13.4%
布袋北小学校区	102	7.4%
宮田小学校区	166	12.1%
草井小学校区	109	7.9%
藤里小学校区	94	6.8%
門弟山小学校区	95	6.9%
不明	6	0.5%
無回答	17	1.2%
合計	1,378	100.0%



(4) 家族構成

回答者の家族構成は、「その他(～のいずれにもあてはまらない人)」の回答数が一番多く、次いで「65歳以上の高齢者がいる(あなたが65歳以上の場合も含む)」になっています。「上記以外の18歳未満の子どもがいる」の回答数が最も少なくなっています。

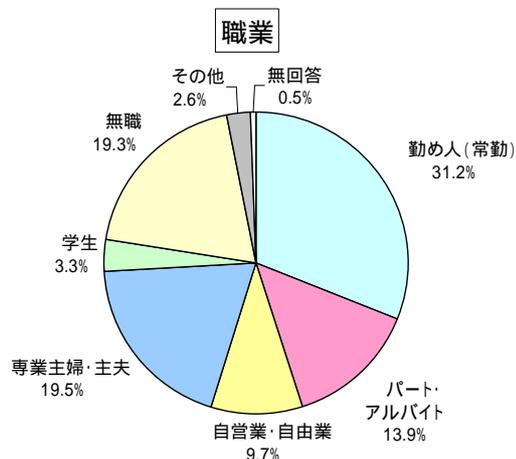
家族構成(複数回答可)	回答数
就学前の子どもがいる	199
小・中学校の子どもがいる	278
上記以外の18歳未満の子どもがいる	153
65歳以上の高齢者がいる(あなたが65歳以上の場合も含む)	627
その他(～のいずれにもあてはまらない人)	654
無回答	17
合計	1,928



(5) 職業

回答者の職業は、「勤め人(常勤)」の方の割合が最も多く 31.2%で、次いで「専業主婦・主夫」が 19.5%、「無職」が 19.3%の順になっています。

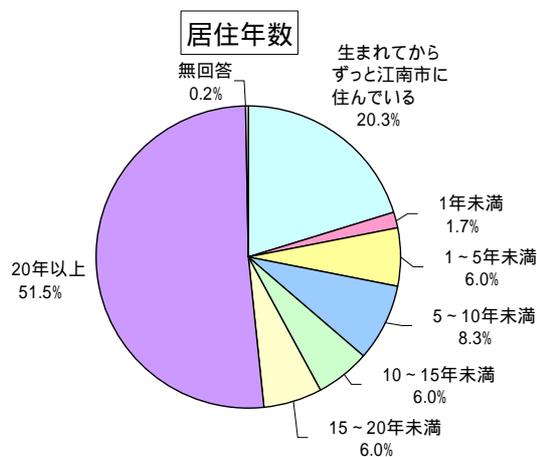
職業	回答数	構成比
勤め人(常勤)	430	31.2%
パート・アルバイト	192	13.9%
自営業・自由業	134	9.7%
専業主婦・主夫	268	19.5%
学生	46	3.3%
無職	266	19.3%
その他	35	2.6%
無回答	7	0.5%
合計	1,378	100.0%



(6) 居住年数

回答者の通算居住年数は、「20年以上」の割合が 51.5%と最も多くなっています。

居住年数	回答数	構成比
生まれてからずっと江南市に住んでいる	279	20.3%
1年未満	24	1.7%
1～5年未満	83	6.0%
5～10年未満	114	8.3%
10～15年未満	83	6.0%
15～20年未満	83	6.0%
20年以上	709	51.5%
無回答	3	0.2%
合計	1,378	100.0%



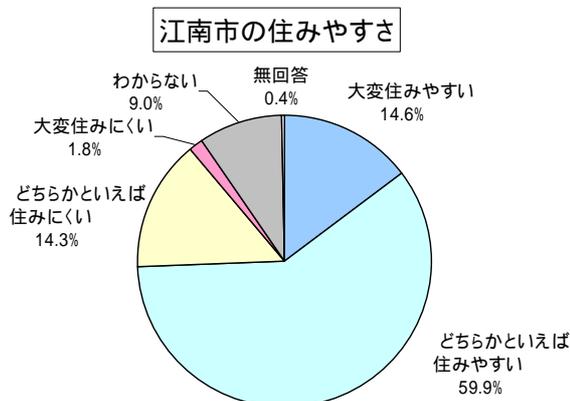
2 - 2 定住意識

(1) 住みやすさ

住みやすさについては、「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」との回答を合わせると、約75%となっています。

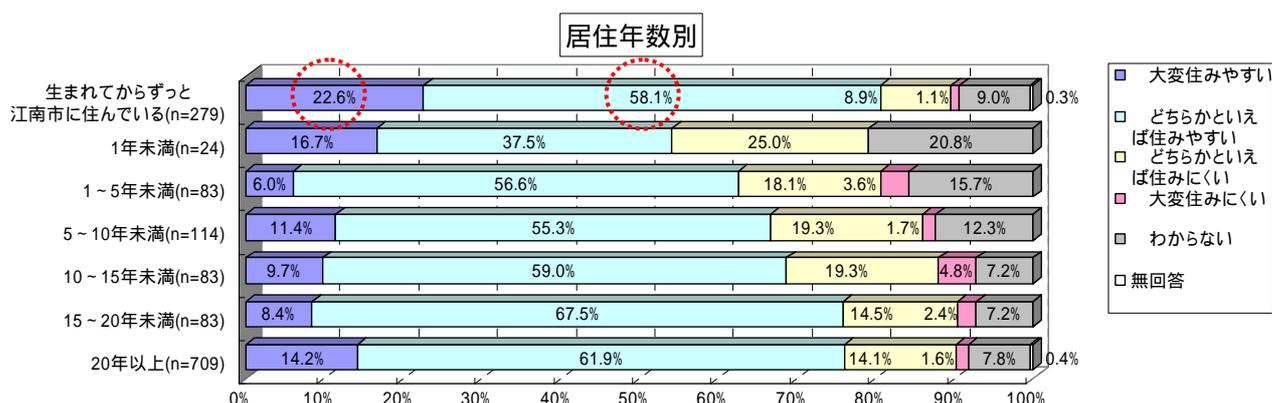
江南市の住みやすさ 回答数 構成比

住みやすさ	回答数	構成比
大変住みやすい	201	14.6%
どちらかといえば住みやすい	825	59.9%
どちらかといえば住みにくい	197	14.3%
大変住みにくい	25	1.8%
わからない	124	9.0%
無回答	6	0.4%
合計	1,378	100.0%



居住年数別にみると、江南市の住みやすさについて、「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」とを合わせた回答割合は、「生まれてからずっと江南市に住んでいる」が最も高くなっています。また、居住年数が長いほど住みやすいと感じている割合が高くなる傾向にあります。

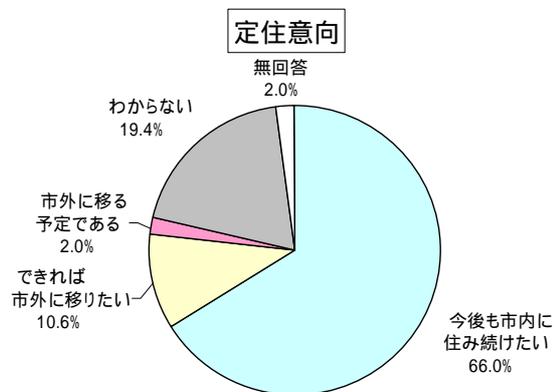
なお、住みやすさについては、他の階層別では全体の傾向とほぼ同様になっています。



(2) 定住意向

定住意向については、「今後も市内に住み続けたい」との積極的な意向が66.0%と高く、次いで「わからない」19.4%、「できれば市外に移りたい」10.6%となっています。

定住意向	回答数	構成比
今後も市内に住み続けたい	910	66.0%
できれば市外に移りたい	146	10.6%
市外に移る予定である	27	2.0%
わからない	267	19.4%
無回答	28	2.0%
合計	1,378	100.0%

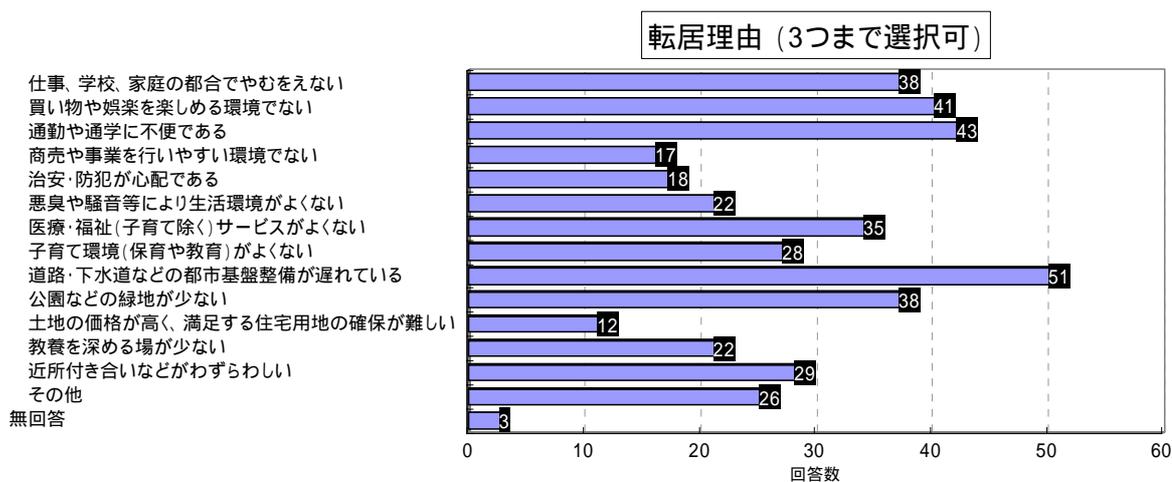


(3) 転居理由

問3の定住意向で「できれば市外へ移りたい」または「市外に移る予定である」を選択した173人の転居理由は、「道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている」の回答が一番多く51人、次いで「通勤や通学に不便である」が43人、「買い物や娯楽を楽しめる環境でない」が41人となっています。

また、その他の意見として「高齢者の生活の利便性が悪い(交通の便・居住環境)」「財政状況がよくない(税金が高い・財政赤字)」などが挙げられています。

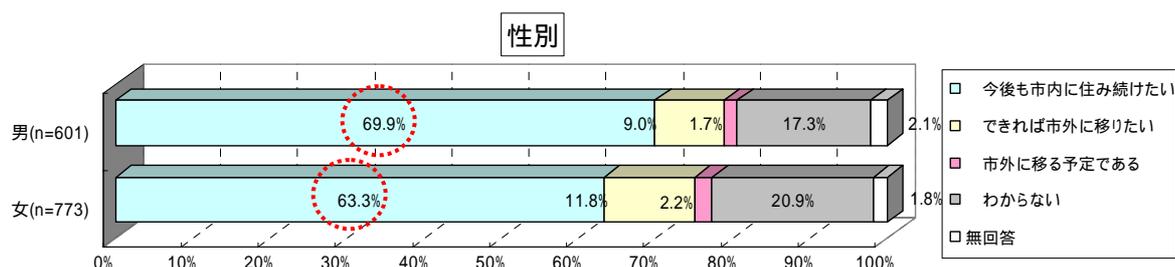
転居理由(3つまで選択可)	回答数
仕事、学校、家庭の都合でやむをえない	38
買い物や娯楽を楽しめる環境でない	41
通勤や通学に不便である	43
商売や事業を行いやすい環境でない	17
治安・防犯が心配である	18
悪臭や騒音等により生活環境がよくない	22
医療・福祉(子育て除く)サービスがよくない	35
子育て環境(保育や教育)がよくない	28
道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている	51
公園などの緑地が少ない	38
土地の価格が高く、満足する住宅用地の確保が難しい	12
教養を深める場が少ない	22
近所付き合いなどがわずらわしい	29
その他	26
無回答	3
合計	423



定住意向と転居理由について、階層別にみると以下のようになります。

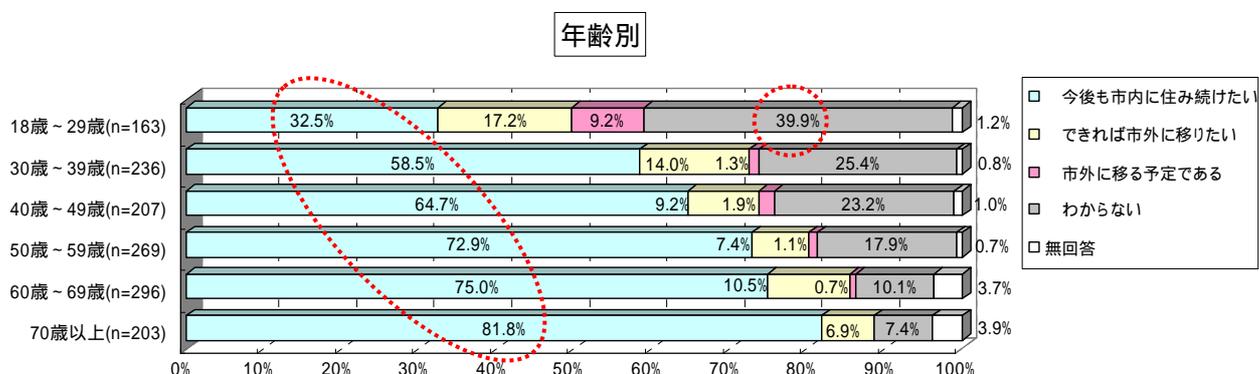
性別では、「今後も市内に住み続けたい」の回答割合は、男性が69.9%であるのに対し、女性は63.3%となっており、男性の定住意向が女性より高い傾向にあります。

また、問3で「できれば市外に移りたい」または「市外に移る予定である」を選んだ理由として、男性は「通勤や通学に不便である」や「道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている」を挙げる割合が高く、女性は「買い物や娯楽を楽しめる環境でない」、「子育て環境（保育や教育）がよくない」および「公園などの緑地が少ない」を挙げる割合が高くなっています。



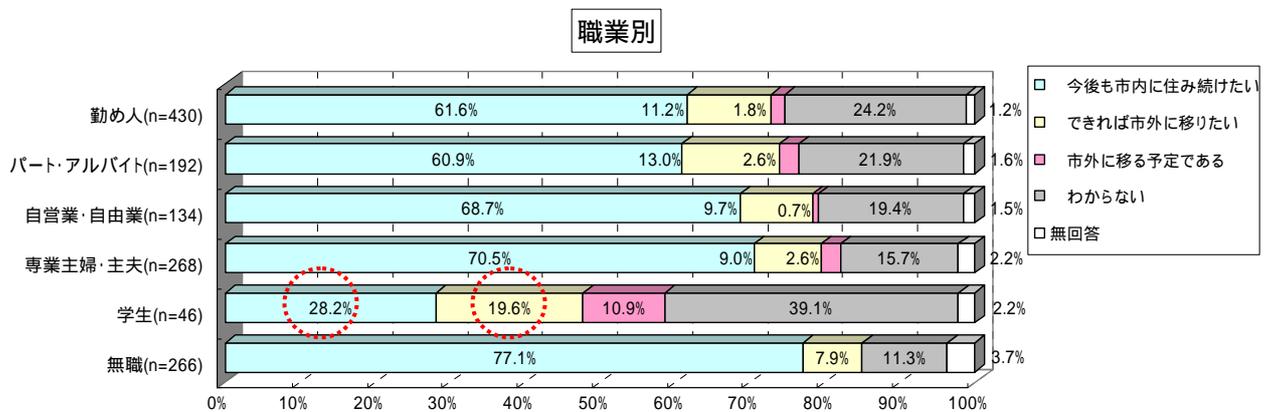
年齢別では、「今後も市内に住み続けたい」の回答割合は、18歳～29歳は32.5%であるのに対し、70歳以上では81.8%となっており、年齢が高くなるにつれ定住意向が高まる傾向にあります。なお、18歳～29歳では「わからない」との回答が39.9%と際立って多くなっています。

また、問3で「できれば市外に移りたい」または「市外に移る予定である」を選んだ理由として、30歳～39歳は「子育て環境（保育や教育）がよくない」、40歳～49歳は「通勤や通学に不便である」や「道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている」、60歳以上では「医療・福祉（子育て除く）サービスがよくない」を挙げる割合が高くなっています。



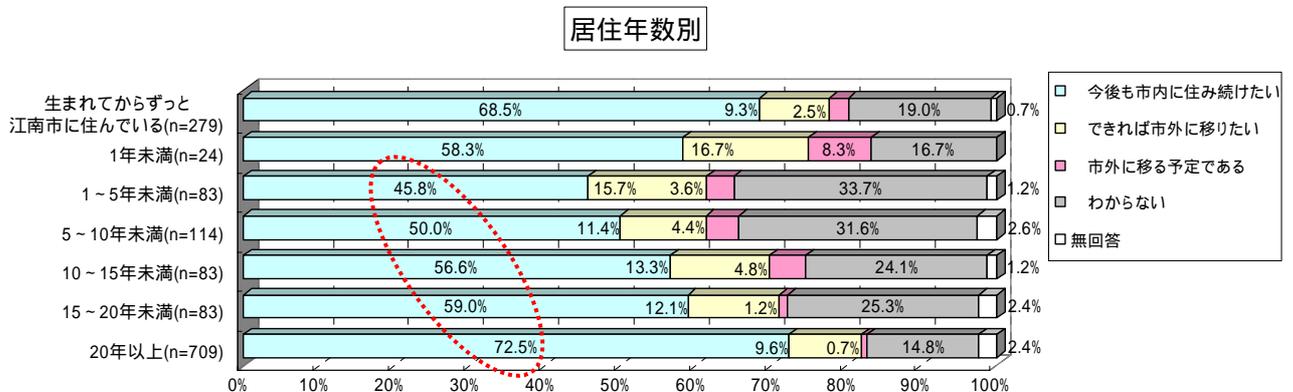
職業別では、学生は「今後も市内に住み続けたい」の回答割合が28.2%、「できれば市外に移りたい」の回答割合が19.6%であり、定住意向が比較的低くなっています。

また、問3で「できれば市外に移りたい」または「市外に移る予定である」を選んだ理由として、勤め人は「通勤や通学に不便である」、パート・アルバイトは「子育て環境（保育や教育）がよくない」、自営業・自由業は「商売や事業を行いやすい環境でない」、専業主婦・主夫は「医療・福祉（子育て除く）サービスがよくない」や「公園などの緑地が少ない」、学生は「仕事、学校、家族の都合でやむをえない」、無職は「医療・福祉（子育て除く）サービスがよくない」や「教養を深める場が少ない」を挙げる割合が高くなっています。



居住年数別では、居住年数が1～5年未満の方の定住意向が最も低く、居住年数の増加とともに定住意向が高くなる傾向にあります。

また、問3で「できれば市外に移りたい」または「市外に移る予定である」を選んだ理由として、居住年数1～5年未満の方は「買い物や娯楽を楽しめる環境でない」、5～10年未満の方は「子育て環境（保育や教育）がよくない」、10～15年未満の方は「通勤や通学に不便である」、15～20年未満の方は「道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている」を挙げる割合が高くなっています。



2 - 3 設問項目の優先性に対する意向

(1) 現状の充足度・今後の重要度の分析

「現状の充足度」・「今後の重要度」の考え方

毎日の生活の中で、生活環境や行政サービス、公共施設などの45の設問項目について、現状にどの程度満足しているか（以下「現状の充足度」とする）また、今後の取り組みがどの程度重要か（以下「今後の重要度」とする）を尋ねました。それぞれについて、以下のような平均値を求め検討しています。なお、今回の調査では、「わからない」という選択肢を中間の点数で算定しています。

現状の充足度の平均値は、項目ごとに「十分な状態である」を1点、「一応十分な状態である」を2点、「わからない」を3点、「やや不十分な状態である」を4点「不十分な状態である」を5点とし、それぞれの回答数を乗じたものを合計し、各項目の総回答数（無回答のものを除く。）で除して求めています。同様に、今後の重要度の平均値は、項目ごとに「重要である」を5点、「やや重要である」を4点、「わからない」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点とし、それぞれの回答数を乗じたものを合計し、各項目の総回答数（無回答のものを除く）で除して求めています。

現状の充足度の平均値の求め方 < 対策必要度 >

- 「十分な状態である」: 1点 × 「十分な状態である」の回答数
- 「一応十分な状態である」: 2点 × 「一応十分な状態である」の回答数
- 「わからない」: 3点 × 「わからない」の回答数
- 「やや不十分な状態である」: 4点 × 「やや不十分な状態である」の回答数
- 「不十分な状態である」: 5点 × 「不十分な状態である」の回答数

これらの点数を合計して総回答数(無回答を除く)で割る

「現状の充足度」の平均値

今後の重要度の平均値の求め方

- 「重要である」: 5点 × 「重要である」の回答数
- 「やや重要である」: 4点 × 「やや重要である」の回答数
- 「わからない」: 3点 × 「わからない」の回答数
- 「あまり重要ではない」: 2点 × 「あまり重要ではない」の回答数
- 「重要ではない」: 1点 × 「重要ではない」の回答数

これらの点数を合計して総回答数(無回答を除く)で割る

「今後の重要度」の平均値

現状の充足度の分析

現状の充足度の分析結果は、図表 1、3 に示します。そのうちの上位 10 位と下位 10 位を以下に示します。

現状の充足度

順位	項目	平均値
1	(29) 駅前・市街地の活性化	4.22
2	(3) 災害への備え	4.13
3	(7) 公共交通の充実	3.95
4	(14) 商店街の活性化	3.93
5	(44) 公平・適正な課税・収納	3.85
6	(13) 雇用の場の確保	3.84
7	(28) 秩序あるまちなみの形成	3.65
8	(36) 図書館機能の充実	3.62
9	(43) 効率的な行財政運営	3.60
10	(45) 議会情報の公開	3.59
中略		
36	(11) 農業の振興	3.00
37	(18) 地域医療体制の整備	2.97
38	(26) 河川の整備	2.97
39	(10) 公害の抑制	2.96
40	(27) 良好な住宅環境	2.95
41	(4) 消防・救急体制の充実	2.94
42	(9) 地球環境の保全	2.93
43	(15) 社会保障制度の充実	2.78
44	(8) ごみの減量・リサイクル	2.54
45	(31) 安全な水の安定供給	2.09

今後の重要度の分析

今後の重要度の分析結果は、図表 2、4 に示します。そのうちの上位 10 位と下位 10 位を以下に示します。

今後の重要度

順位	項目	平均値
1	(15) 社会保障制度の充実	4.62
2	(18) 地域医療体制の整備	4.61
3	(31) 安全な水の安定供給	4.55
4	(4) 消防・救急体制の充実	4.53
5	(34) 安全な通学の確保	4.51
6	(1) 地域防犯	4.50
7	(10) 公害の抑制	4.46
8	(2) 地域防災	4.45
9	(3) 災害への備え	4.44
10	(21) 高齢者の生活支援	4.42
中略		
36	(13) 雇用の場の確保	3.95
37	(14) 商店街の活性化	3.94
38	(36) 図書館機能の充実	3.89
39	(39) 青少年の育成	3.85
40	(42) 市民活動の活性化	3.82
41	(37) スポーツ・レクリエーションの充実	3.66
42	(38) 男女共同参画の推進	3.63
43	(11) 農業の振興	3.61
44	(40) 文化・交流活動の活性化	3.44
45	(12) 観光の振興	3.38

図表1 現状の充足度の項目別比較

	十分な 状態 である	一応 十分な 状態 である	やや 不十分な 状態 である	不十分な 状態 である	わから ない	無回答
(1) 地域防犯	25 1.8%	350 25.4%	401 29.1%	339 24.6%	214 15.5%	49 3.6%
(2) 地域防災	18 1.3%	277 20.1%	290 21.1%	316 22.9%	418 30.3%	59 4.3%
(3) 災害への備え	18 1.3%	181 13.1%	354 25.7%	684 49.7%	90 6.5%	51 3.7%
(4) 消防・救急体制の充実	64 4.6%	516 37.5%	236 17.1%	164 11.9%	342 24.8%	56 4.1%
(5) 市民相談の充実	70 5.1%	369 26.8%	292 21.2%	277 20.1%	313 22.7%	57 4.1%
(6) 迅速・適切な行政サービス	31 2.3%	331 24.0%	311 22.6%	250 18.1%	391 28.4%	64 4.6%
(7) 公共交通の充実	51 3.7%	218 15.8%	254 18.5%	666 48.3%	138 10.0%	51 3.7%
(8) ごみの減量・リサイクル	183 13.3%	699 50.7%	235 17.1%	108 7.8%	105 7.6%	48 3.5%
(9) 地球環境の保全	136 9.9%	543 39.4%	430 31.2%	149 10.8%	71 5.1%	49 3.6%
(10) 公害の抑制	133 9.6%	576 41.8%	334 24.2%	230 16.7%	60 4.4%	45 3.3%
(11) 農業の振興	54 3.9%	356 25.8%	213 15.5%	127 9.2%	574 41.7%	54 3.9%
(12) 観光の振興	44 3.2%	332 24.1%	358 26.0%	309 22.4%	281 20.4%	54 3.9%
(13) 雇用の場の確保	9 0.7%	90 6.5%	282 20.5%	469 34.0%	469 34.0%	59 4.3%
(14) 商店街の活性化	59 4.3%	241 17.5%	271 19.7%	665 48.2%	96 7.0%	46 3.3%
(15) 社会保障制度の充実	149 10.8%	624 45.3%	250 18.2%	192 13.9%	119 8.6%	44 3.2%
(16) 福祉相談体制の整備	33 2.4%	258 18.7%	282 20.5%	189 13.7%	568 41.2%	48 3.5%
(17) 健康づくり	54 3.9%	440 31.9%	327 23.7%	180 13.1%	326 23.7%	51 3.7%
(18) 地域医療体制の整備	91 6.6%	588 42.7%	348 25.3%	190 13.8%	115 8.3%	46 3.3%
(19) 障害者の生活支援	38 2.7%	248 18.0%	244 17.7%	140 10.2%	652 47.3%	56 4.1%
(20) 高齢者の生きがいづくり	38 2.7%	254 18.4%	259 18.8%	187 13.6%	592 43.0%	48 3.5%
(21) 高齢者の生活支援	33 2.4%	300 21.7%	241 17.5%	139 10.1%	613 44.5%	52 3.8%
(22) 保育サービスの充実	24 1.7%	235 17.1%	228 16.5%	183 13.3%	618 44.9%	90 6.5%

上段は回答数、下段は構成割合。網掛け部分とは各設問中、最も構成割合の高い選択肢。

	十分な 状態 である	一応 十分な 状態 である	やや 不十分な 状態 である	不十分な 状態 である	わから ない	無回答
(23) 子育て支援の充実	23 1.7%	211 15.3%	232 16.7%	154 11.2%	658 47.8%	100 7.3%
(24) 安全な道路・歩行空間の整備	58 4.2%	431 31.3%	414 30.0%	373 27.1%	37 2.7%	65 4.7%
(25) 下水道の整備	103 7.5%	496 36.0%	304 22.1%	312 22.6%	106 7.7%	57 4.1%
(26) 河川の整備	129 9.4%	507 36.8%	274 19.9%	227 16.5%	184 13.3%	57 4.1%
(27) 良好な住宅環境	81 5.9%	579 42.0%	333 24.2%	173 12.6%	148 10.7%	64 4.6%
(28) 秩序あるまちなみの形成	22 1.6%	271 19.7%	479 34.7%	340 24.7%	196 14.2%	70 5.1%
(29) 駅前・市街地の活性化	17 1.2%	104 7.6%	309 22.4%	714 51.8%	170 12.3%	64 4.7%
(30) 公園整備・緑化の推進	40 2.9%	344 25.0%	390 28.3%	392 28.4%	149 10.8%	63 4.6%
(31) 安全な水の安定供給	378 27.4%	708 51.4%	127 9.2%	62 4.5%	52 3.8%	51 3.7%
(32) 多様な教育の推進	12 0.9%	240 17.4%	322 23.4%	173 12.5%	557 40.4%	74 5.4%
(33) 教育環境の充実	24 1.7%	366 26.6%	273 19.8%	108 7.8%	529 38.4%	78 5.7%
(34) 安全な通学の確保	30 2.2%	343 24.9%	323 23.4%	175 12.7%	439 31.9%	68 4.9%
(35) 生涯学習環境の充実	13 1.0%	245 17.8%	323 23.4%	179 13.0%	538 39.0%	80 5.8%
(36) 図書館機能の充実	25 1.8%	189 13.7%	287 20.8%	377 27.4%	424 30.8%	76 5.5%
(37) スポーツ・レクリエーションの充実	27 2.0%	220 16.0%	334 24.2%	342 24.8%	380 27.6%	75 5.4%
(38) 男女共同参画の推進	18 1.3%	205 14.9%	273 19.8%	256 18.6%	549 39.8%	77 5.6%
(39) 青少年の育成	10 0.7%	151 11.0%	257 18.6%	231 16.8%	651 47.2%	78 5.7%
(40) 文化・交流活動の活性化	5 0.4%	103 7.5%	214 15.5%	255 18.5%	725 52.6%	76 5.5%
(41) 市民への情報提供	14 1.0%	251 18.2%	357 25.9%	330 23.9%	366 26.6%	60 4.4%
(42) 市民活動の活性化	16 1.2%	181 13.1%	302 21.9%	242 17.6%	574 41.6%	63 4.6%
(43) 効率的な行財政運営	6 0.4%	118 8.6%	276 20.0%	321 23.3%	593 43.0%	64 4.7%
(44) 公平・適正な課税・収納	8 0.6%	116 8.4%	252 18.3%	498 36.1%	446 32.4%	58 4.2%
(45) 議会情報の公開	13 1.0%	188 13.6%	255 18.5%	367 26.6%	494 35.9%	61 4.4%

上段は回答数、下段は構成割合。網掛け部分には各設問中、最も構成割合の高い選択肢。

図表2 今後の重要度の項目別比較

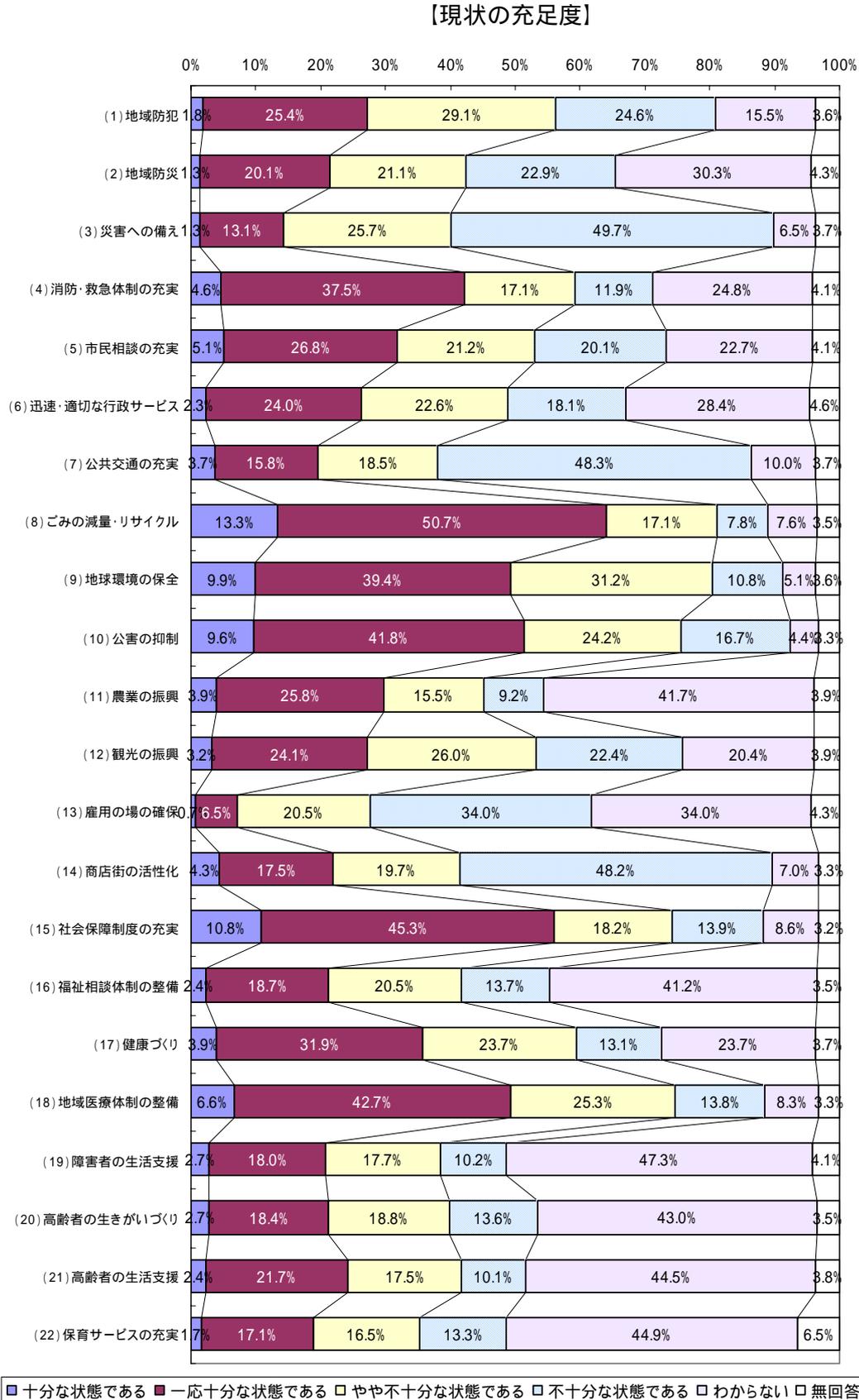
	重要 である	やや重要 である	あまり 重要では ない	重要では ない	わから ない	無回答
(1) 地域防犯	801 58.1%	399 29.0%	48 3.5%	3 0.2%	50 3.6%	77 5.6%
(2) 地域防災	748 54.3%	428 31.0%	38 2.7%	1 0.1%	85 6.2%	78 5.7%
(3) 災害への備え	746 54.1%	460 33.4%	58 4.2%	8 0.6%	30 2.2%	76 5.5%
(4) 消防・救急体制の充実	828 60.1%	373 27.1%	38 2.7%	3 0.2%	56 4.1%	80 5.8%
(5) 市民相談の充実	422 30.6%	577 41.9%	164 11.9%	16 1.2%	106 7.7%	93 6.7%
(6) 迅速・適切な行政サービス	483 35.0%	576 41.8%	87 6.3%	8 0.6%	129 9.4%	95 6.9%
(7) 公共交通の充実	454 32.9%	559 40.6%	180 13.1%	28 2.0%	73 5.3%	84 6.1%
(8) ごみの減量・リサイクル	691 50.2%	507 36.8%	58 4.2%	4 0.3%	35 2.5%	83 6.0%
(9) 地球環境の保全	622 45.1%	572 41.5%	70 5.1%	3 0.2%	29 2.1%	82 6.0%
(10) 公害の抑制	724 52.5%	487 35.4%	44 3.2%	3 0.2%	34 2.5%	86 6.2%
(11) 農業の振興	267 19.4%	526 38.2%	213 15.4%	25 1.8%	267 19.4%	80 5.8%
(12) 観光の振興	181 13.1%	577 41.9%	325 23.6%	58 4.2%	154 11.2%	83 6.0%
(13) 雇用の場の確保	420 30.5%	533 38.7%	118 8.6%	12 0.9%	210 15.1%	85 6.2%
(14) 商店街の活性化	432 31.4%	582 42.2%	171 12.4%	28 2.0%	87 6.3%	78 5.7%
(15) 社会保障制度の充実	897 65.1%	336 24.4%	22 1.6%	2 0.1%	42 3.1%	79 5.7%
(16) 福祉相談体制の整備	708 51.4%	415 30.1%	41 3.0%	4 0.3%	132 9.6%	78 5.6%
(17) 健康づくり	568 41.2%	524 38.0%	84 6.1%	4 0.3%	112 8.1%	86 6.3%
(18) 地域医療体制の整備	871 63.2%	357 25.9%	25 1.8%	1 0.1%	36 2.6%	88 6.4%
(19) 障害者の生活支援	662 48.0%	413 30.0%	31 2.3%	2 0.1%	185 13.4%	85 6.2%
(20) 高齢者の生きがいづくり	668 48.5%	417 30.2%	45 3.3%	5 0.4%	162 11.7%	81 5.9%
(21) 高齢者の生活支援	738 53.6%	385 27.9%	34 2.5%	4 0.3%	123 8.9%	94 6.8%
(22) 保育サービスの充実	648 47.0%	399 29.0%	39 2.8%	5 0.4%	175 12.7%	112 8.1%

上段は回答数、下段は構成割合。網掛け部分はいずれも各設問中、最も構成割合の高い選択肢。

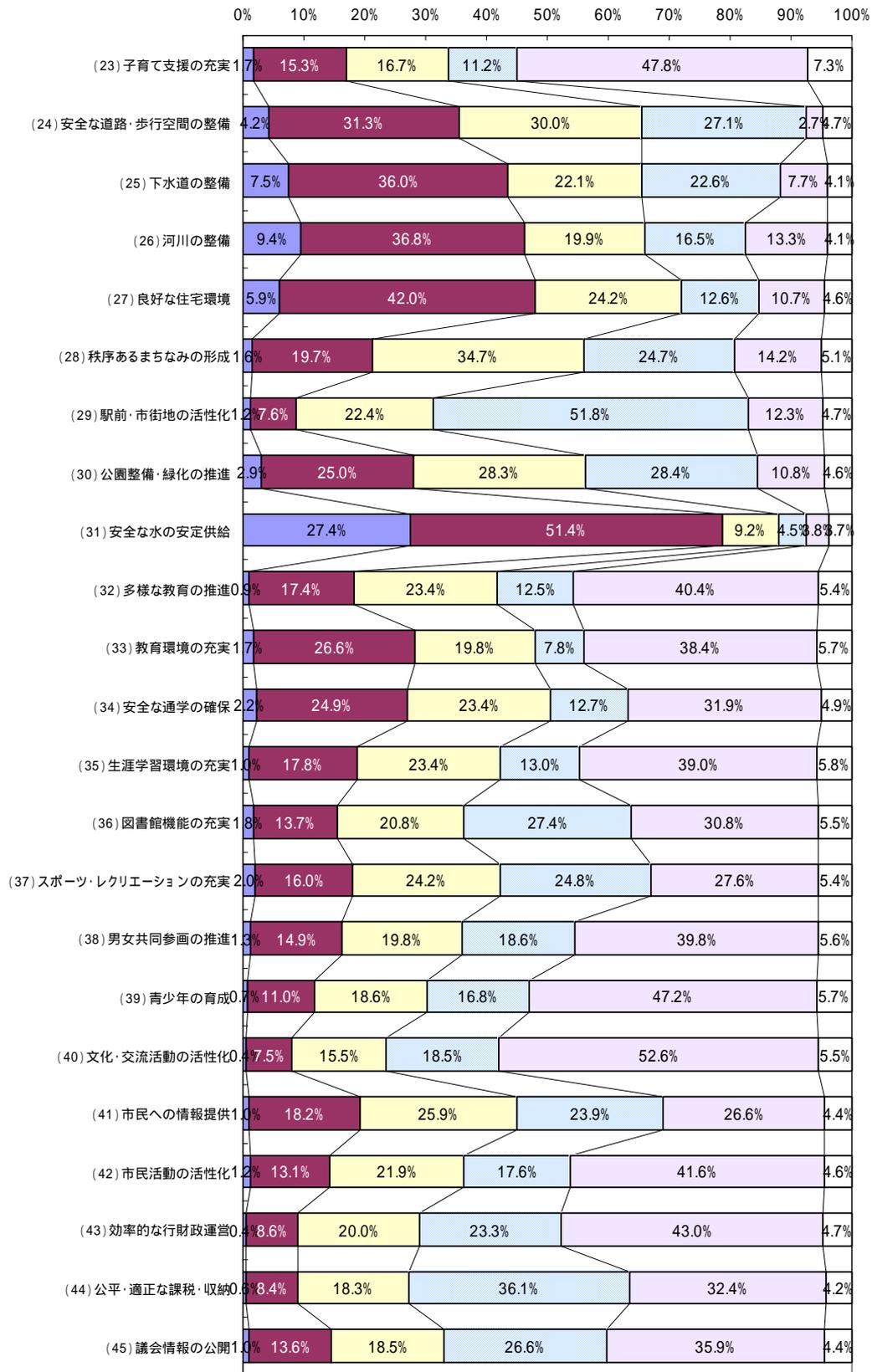
	重要 である	やや重要 である	あまり 重要では ない	重要では ない	わから ない	無回答
(23) 子育て支援の充実	610 44.3%	422 30.6%	35 2.5%	4 0.3%	186 13.5%	121 8.8%
(24) 安全な道路・歩行空間の整備	660 47.9%	510 37.0%	79 5.7%	9 0.7%	20 1.4%	100 7.3%
(25) 下水道の整備	655 47.5%	505 36.7%	76 5.5%	10 0.7%	37 2.7%	95 6.9%
(26) 河川の整備	705 51.2%	436 31.6%	72 5.2%	6 0.4%	63 4.6%	96 7.0%
(27) 良好な住宅環境	521 37.8%	579 42.0%	105 7.6%	9 0.7%	69 5.0%	95 6.9%
(28) 秩序あるまちなみの形成	440 31.9%	612 44.4%	135 9.8%	13 0.9%	85 6.2%	93 6.8%
(29) 駅前・市街地の活性化	456 33.1%	541 39.2%	179 13.0%	19 1.4%	91 6.6%	92 6.7%
(30) 公園整備・緑化の推進	464 33.7%	593 43.0%	150 10.9%	10 0.7%	67 4.9%	94 6.8%
(31) 安全な水の安定供給	878 63.7%	316 22.9%	59 4.3%	8 0.6%	25 1.8%	92 6.7%
(32) 多様な教育の推進	736 53.4%	360 26.1%	35 2.6%	3 0.2%	145 10.5%	99 7.2%
(33) 教育環境の充実	719 52.2%	365 26.5%	44 3.2%	3 0.2%	143 10.4%	104 7.5%
(34) 安全な通学の確保	823 59.7%	331 24.0%	30 2.2%	2 0.2%	97 7.0%	95 6.9%
(35) 生涯学習環境の充実	427 31.0%	542 39.3%	138 10.0%	12 0.9%	154 11.2%	105 7.6%
(36) 図書館機能の充実	384 27.9%	565 41.0%	168 12.2%	11 0.8%	150 10.9%	100 7.2%
(37) スポーツ・レクリエーションの充実	281 20.4%	575 41.7%	255 18.5%	24 1.8%	138 10.0%	105 7.6%
(38) 男女共同参画の推進	272 19.8%	540 39.2%	214 15.5%	33 2.4%	214 15.5%	105 7.6%
(39) 青少年の育成	358 26.0%	543 39.4%	140 10.1%	19 1.4%	215 15.6%	103 7.5%
(40) 文化・交流活動の活性化	228 16.6%	465 33.7%	258 18.7%	51 3.7%	273 19.8%	103 7.5%
(41) 市民への情報提供	504 36.6%	561 40.7%	77 5.6%	6 0.4%	141 10.2%	89 6.5%
(42) 市民活動の活性化	340 24.7%	552 40.1%	154 11.2%	13 0.9%	225 16.3%	94 6.8%
(43) 効率的な行財政運営	537 39.0%	467 33.9%	58 4.2%	6 0.4%	209 15.2%	101 7.3%
(44) 公平・適正な課税・収納	755 54.8%	356 25.8%	30 2.2%	5 0.4%	138 10.0%	94 6.8%
(45) 議会情報の公開	492 35.7%	499 36.2%	104 7.5%	12 0.9%	176 12.8%	95 6.9%

上段は回答数、下段は構成割合。網掛け部分は各設問中、最も構成割合の高い選択肢。

図表3 現状の充足度：選択肢別の回答割合

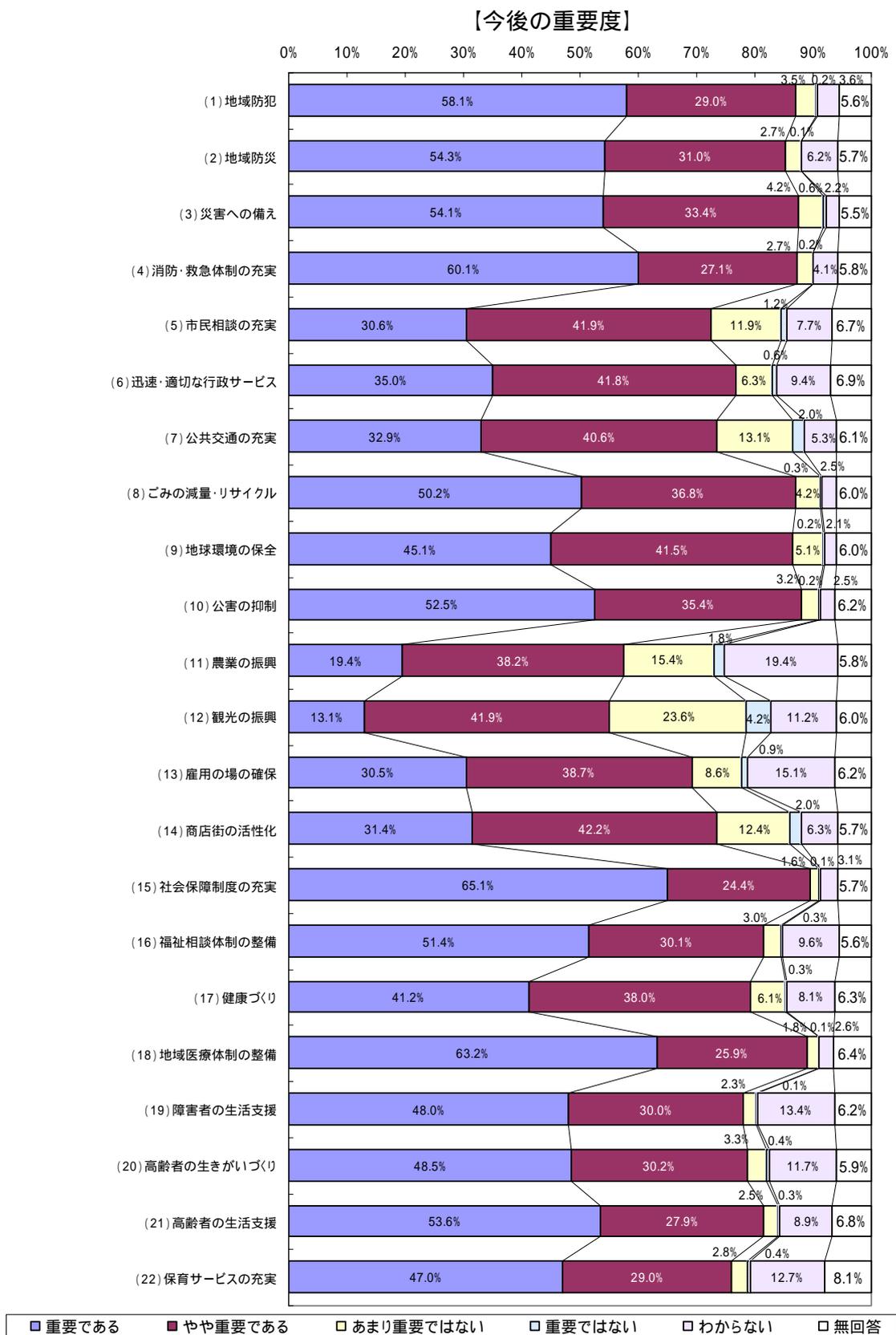


【現状の充足度】

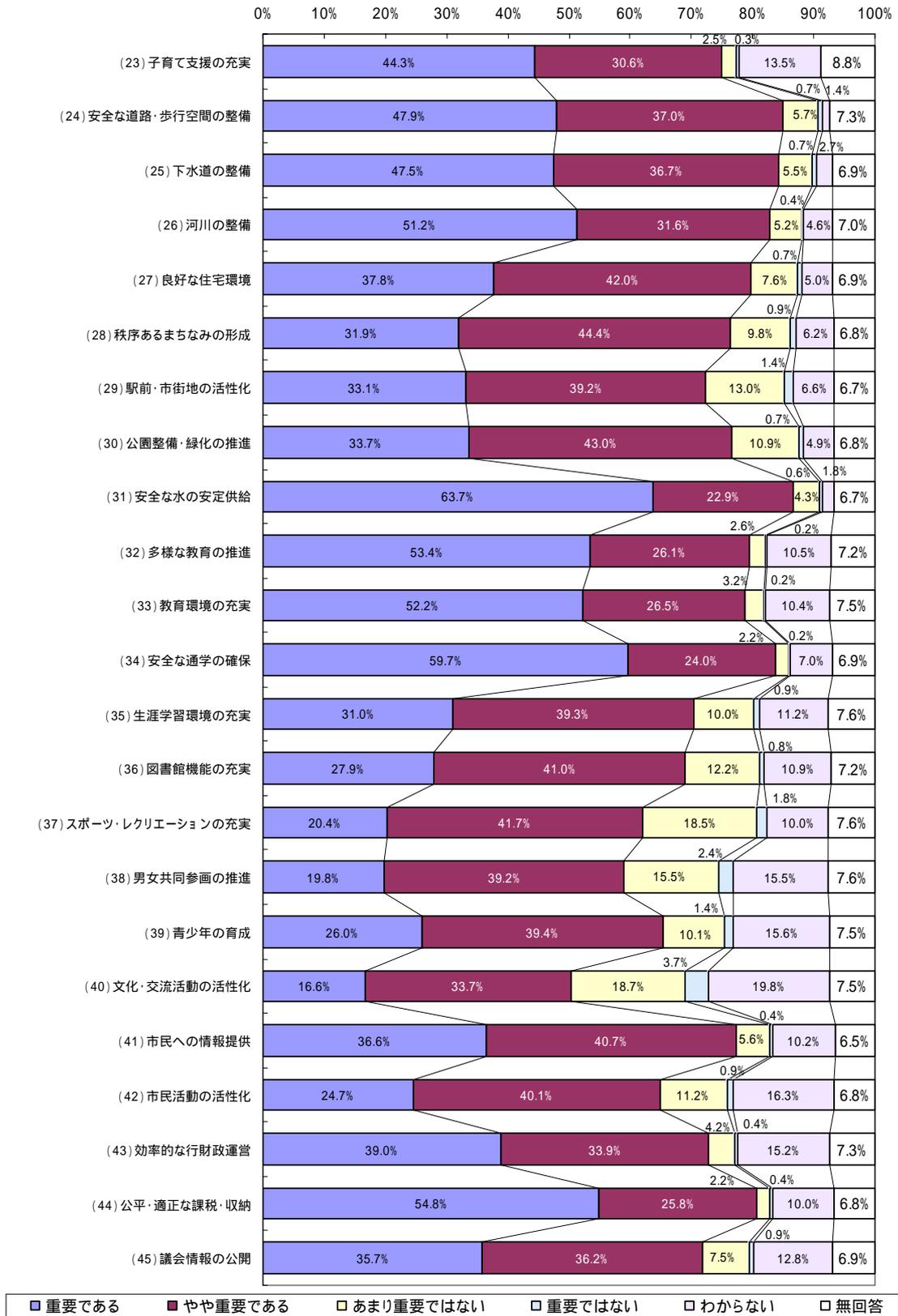


■ 十分な状態である ■ 一応十分な状態である □ やや不十分な状態である □ 不十分な状態である □ わからない □ 無回答

図表4 今後の重要度：選択肢別の回答割合



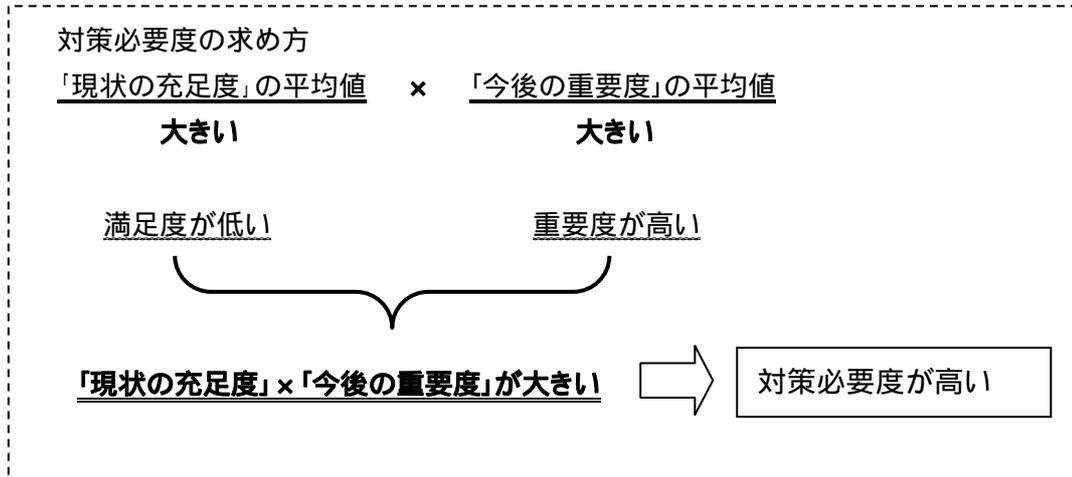
【今後の重要度】



(2) 設問項目の対策必要度の分析

設問項目の対策必要度の考え方

(1) で求めた「現状の充足度」の平均値と「今後の重要度」の平均値を用いて、それらに乗じた値の大小により、設問項目の対策必要度を求めました。



対策必要度の結果

設問項目の対策必要度は、「(3)災害への備え」が第1位、次いで、「(44)公平・適正な課税・収納」、「(29)駅前・市街地の活性化」の順になっています。

図表5 設問項目の対策必要度（点数順）

対策必要度の順位	設問項目	a 現状の充足度	b 今後の重要度	a×b 対策必要度
1	(3) 災害への備え	4.13	4.44	18.34
2	(44) 公平・適正な課税・収納	3.85	4.42	17.02
3	(29) 駅前・市街地の活性化	4.22	3.96	16.71
4	(1) 地域防犯	3.51	4.50	15.80
5	(7) 公共交通の充実	3.95	3.95	15.60
6	(14) 商店街の活性化	3.93	3.94	15.48
7	(2) 地域防災	3.46	4.45	15.40
8	(13) 雇用の場の確保	3.84	3.95	15.17
9	(24) 安全な道路・歩行空間の整備	3.47	4.36	15.13
10	(43) 効率的な行財政運営	3.60	4.15	14.94
11	(41) 市民への情報提供	3.56	4.15	14.77
12	(28) 秩序あるまちなみの形成	3.65	4.04	14.75
13	(45) 議会情報の公開	3.59	4.06	14.58
14	(32) 多様な教育の推進	3.31	4.40	14.56
15	(34) 安全な通学の確保	3.21	4.51	14.48
16	(30) 公園整備・緑化の推進	3.57	4.05	14.46
17	(16) 福祉相談体制の整備	3.25	4.37	14.20
18	(36) 図書館機能の充実	3.62	3.89	14.08
19	(22) 保育サービスの充実	3.24	4.30	13.93
20	(20) 高齢者の生きがいづくり	3.23	4.31	13.92
21	(21) 高齢者の生活支援	3.12	4.42	13.79
22	(25) 下水道の整備	3.17	4.34	13.76
23	(23) 子育て支援の充実	3.22	4.27	13.75
24	(18) 地域医療体制の整備	2.97	4.61	13.69
25	(6) 迅速・適切な行政サービス	3.32	4.12	13.68
26	(19) 障害者の生活支援	3.15	4.32	13.61
27	(33) 教育環境の充実	3.06	4.38	13.40
28	(4) 消防・救急体制の充実	2.94	4.53	13.32
29	(10) 公害の抑制	2.96	4.46	13.20
30	(35) 生涯学習環境の充実	3.32	3.97	13.18
31	(39) 青少年の育成	3.42	3.85	13.17
32	(42) 市民活動の活性化	3.44	3.82	13.14
33	(37) スポーツ・レクリエーションの充実	3.57	3.66	13.07
34	(17) 健康づくり	3.10	4.21	13.05
35	(26) 河川の整備	2.97	4.37	12.98
36	(5) 市民相談の充実	3.26	3.95	12.88
37	(15) 社会保障制度の充実	2.78	4.62	12.84
38	(9) 地球環境の保全	2.93	4.34	12.72
39	(38) 男女共同参画の推進	3.42	3.63	12.41
40	(27) 良好な住宅環境	2.95	4.17	12.30
41	(40) 文化・交流活動の活性化	3.47	3.44	11.94
42	(12) 観光の振興	3.42	3.38	11.56
43	(8) ごみの減量・リサイクル	2.54	4.41	11.20
44	(11) 農業の振興	3.00	3.61	10.83
45	(31) 安全な水の安定供給	2.09	4.55	9.51

(3) ポートフォリオ分析

(2)では、「現状の充足度」と「今後の重要度」から設問項目の対策必要度を求め分析してきましたが、次に「現状の充足度」を縦軸に、「今後の重要度」を横軸にしたマトリクス(散布図)を用いて、それぞれの設問の性質を4つのタイプに分けて考察します。ここでは、これを「ポートフォリオ分析」と呼びます。

ポートフォリオ分析とは、一般には企業経営において、収益性や成長性、安定性などの様々な視点から、どのような金融商品に投資するか、あるいはどのような事業を展開するかなどの、「将来の経営資源配分の分析」を行うことをいいます。

ここでは、行政運営を企業経営に見立てて、「現状の充足度」と「今後の重要度」に関する市民意向の情報から、今後、どのような施策に重点的に資源配分をするべきかについて考察します。

ポートフォリオ分析の考え方

ポートフォリオ分析は、問5での45の設問項目ごとの「現状の充足度」と「今後の重要度」の関係を一目でみるため、「現状の充足度」×「今後の重要度」のマトリクス(散布図)で4つの区切り(セグメント)に分類したものです。

分類にあたっては、散布図の縦軸の下から上に向かい、「今後の重要度」が低いものから高いものに、散布図の横軸の左から右に向かい、「現状の充足度」が低いものから高いものになるように点数を付けて算定しています。算定方法は以下のようになります。

「現状の充足度」の平均値の求め方<ポートフォリオ>

- 「十分な状態である」: 5点 × 「十分な状態である」の回答数
- 「一応十分な状態である」: 4点 × 「一応十分な状態である」の回答数
- 「わからない」: 3点 × 「わからない」の回答数
- 「やや不十分な状態である」: 2点 × 「やや不十分な状態である」の回答数
- 「不十分な状態である」: 1点 × 「不十分な状態である」の回答数

これらの点数を合計して総回答数(無回答を除く)で割る

現状の充足度の平均値

「今後の重要度」の平均値の求め方

- 「重要である」: 5点 × 「重要である」の回答数
- 「やや重要である」: 4点 × 「やや重要である」の回答数
- 「わからない」: 3点 × 「わからない」の回答数
- 「あまり重要ではない」: 2点 × 「あまり重要ではない」の回答数
- 「重要ではない」: 1点 × 「重要ではない」の回答数

これらの点数を合計して総回答数(無回答を除く)で割る

今後の重要度の平均値

ポートフォリオのマトリクス（散布図）では、縦軸は「今後の重要度」、横軸は「現状の充足度」を表しており、2本の補助軸は、それぞれ「今後の重要度」の全項目（45項目）の平均値と、「現状の充足度」の全項目（45項目）の平均値の位置を示しています。

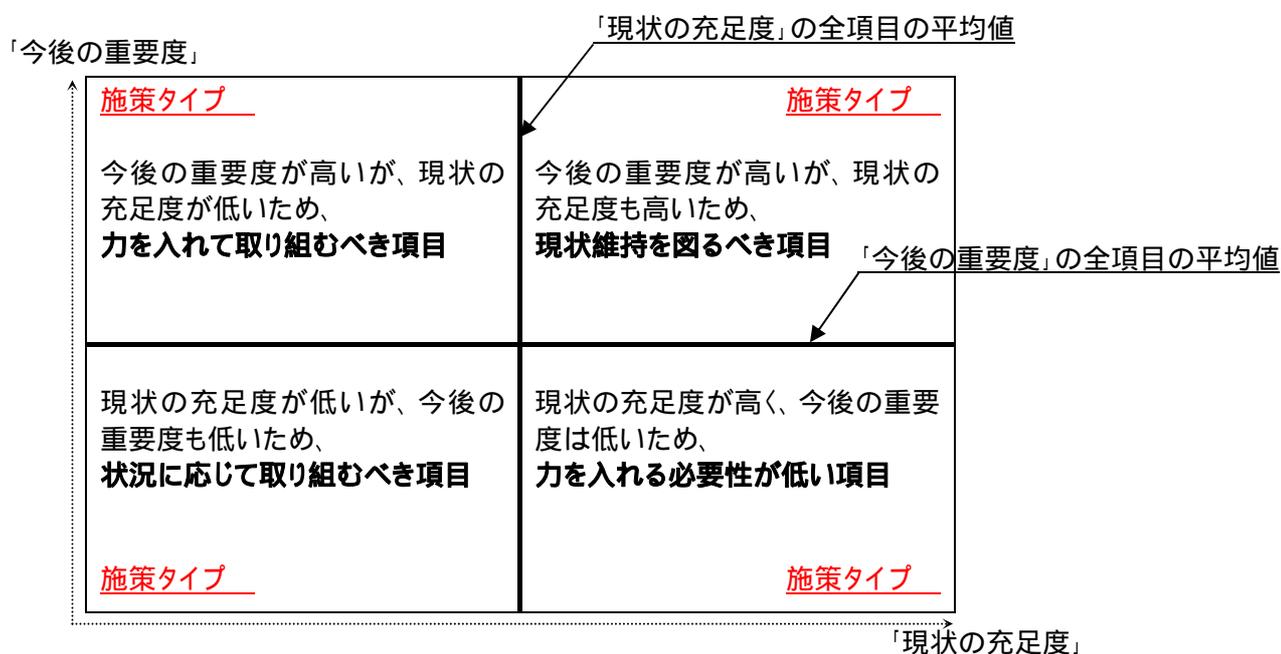
なお、4つの区切り（セグメント）のタイプは、以下のとおりです。

施策タイプ …「今後の重要度」が平均値以上で、「現状の充足度」は平均値以下のもの

施策タイプ …「今後の重要度」が平均値以上で、「現状の充足度」も平均値以上のもの

施策タイプ …「今後の重要度」が平均値以下で、「現状の充足度」も平均値以下のもの

施策タイプ …「今後の重要度」が平均値以下で、「現状の充足度」は平均値以上のもの



ポートフォリオ分析の結果

- ・全体的に施策タイプ と施策タイプ に設問項目が多く分布しており、「今後の重要度」が高いが「現状の充足度」も高い項目、「現状の充足度」が低い「今後の重要度」も低い項目が多く、バランスの取れた行政運営がこれまで行われてきたことがうかがえます。

〔施策タイプ 〕

- ・施策タイプ には、「(1)地域防犯」(防犯パトロールなど、地域ぐるみで犯罪の防止に取り組み、安全な生活を送っている)、「(2)地域防災」(災害時には、自主的な防災組織の活動により各地域においてお互いに助け合っている)、「(3)災害への備え」(住宅の耐震診断の実施や非常持ち出し袋・食料品などを準備し災害に備えている)および「(24)安全な道路・歩行空間の整備」(道路が整備され、人や車が安全に通行している)のように、生活の安全・安心に関連する設問項目が分類されています。
- ・「(44)公平・適正な課税・収納」(税金のしくみがわかりやすく、税が公平・適正に使われていると感じている)も施策タイプ の設問項目であり、税金の使われ方に関心が高いことがうかがわれます。
- ・特に、「(3)災害への備え」(住宅の耐震診断の実施や非常持ち出し袋・食料品などを準備し災害に備えている)は「現状の充足度」が低く、「今後の重要度」が高い設問項目となっています。

〔施策タイプ 〕

- ・施策タイプ には、「(11)農業の振興」(効率的な安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられている)、「(5)市民相談の充実」(身近なところで、生活上の相談ができ、安心・快適に暮らしている)、「(35)生涯学習環境の充実」(豊かな知識や技能を学ぶ生涯学習の環境が整っている)および「(6)迅速・適切な行政サービス」(迅速かつ適切に、行政サービスを受けることができる)が分類されています。
- ・特に、「(11)農業の振興」(効率的な安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられている)は「現状の充足度」が高く「今後の重要度」が低い設問項目となっています。

低い ← 現状の充足度 → 高い

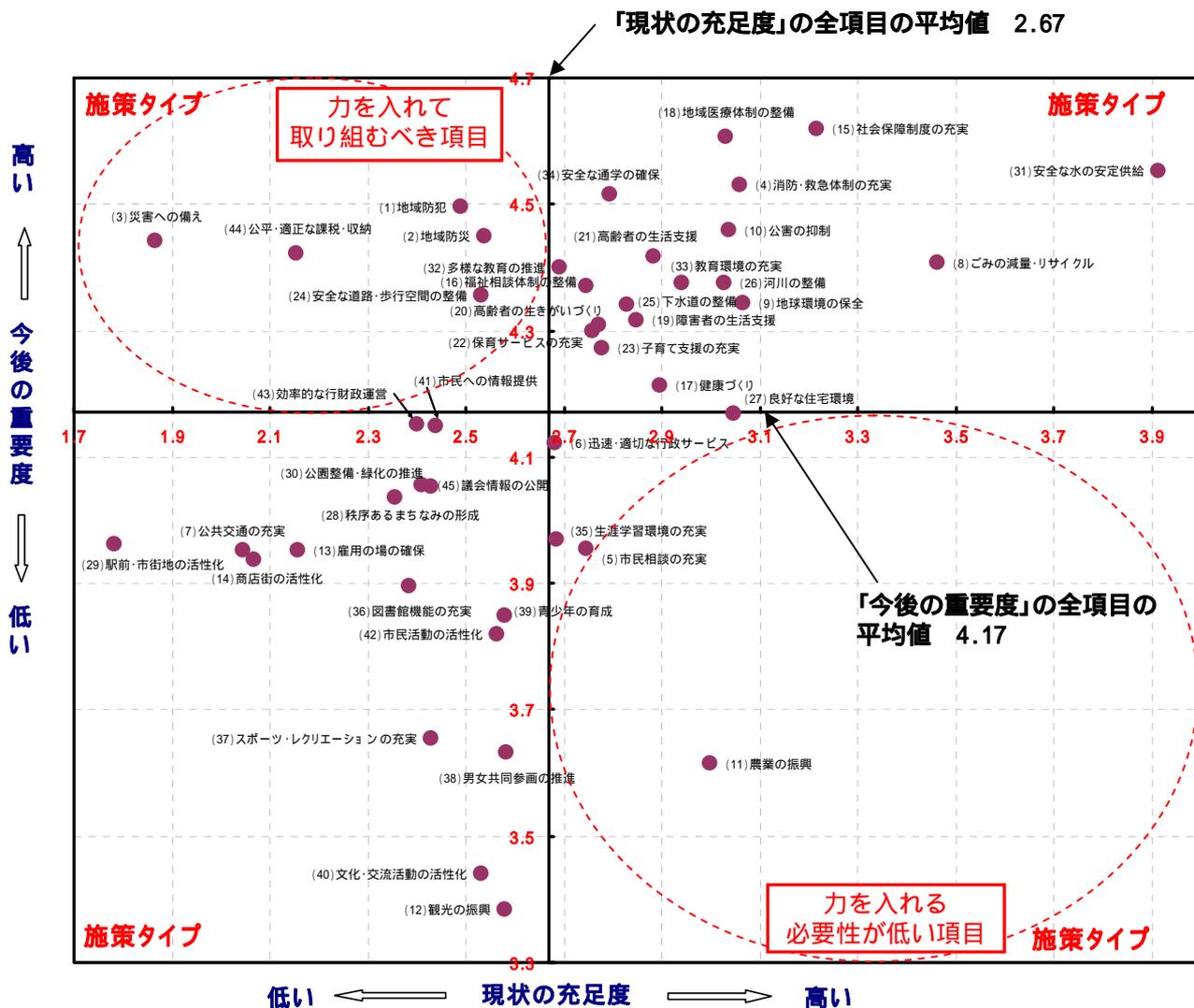
高い
↑
今
後
の
重
要
度
↓
低い

<p>【施策タイプ】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域防犯 (2) 地域防災 (3) 災害への備え (24) 安全な道路・歩行空間の整備 (44) 公平・適正な課税・収納 	<p>【施策タイプ】</p> <ul style="list-style-type: none"> (4) 消防・救急体制の充実 (8) ごみの減量・リサイクル (9) 地球環境の保全 (10) 公害の抑制 (12) 観光の振興 (15) 社会保障制度の充実 (16) 福祉相談体制の整備 (18) 地域医療体制の整備 (19) 障害者の生活支援 (20) 高齢者の生きがいづくり (21) 高齢者の生活支援 (22) 保育サービスの充実 (23) 子育て支援の充実 (25) 下水道の整備 (26) 河川の整備 (27) 良好な住宅環境 (31) 安全な水の安定供給 (32) 多様な教育の推進 (33) 教育環境の充実 (34) 安全な通学の確保
<p>【施策タイプ】</p> <ul style="list-style-type: none"> (7) 公共交通の充実 (13) 雇用の場の確保 (14) 商店街の活性化 (17) 健康づくり (28) 秩序あるまちなみの形成 (29) 駅前・市街地の活性化 (30) 公園整備・緑化の推進 (36) 図書館機能の充実 (37) スポーツ・レクリエーションの充実 (38) 男女共同参画の推進 (39) 青少年の育成 (40) 文化・交流活動の活性化 (41) 市民への情報提供 (42) 市民活動の活性化 (43) 効率的な行財政運営 (45) 議会情報の公開 	<p>【施策タイプ】</p> <ul style="list-style-type: none"> (5) 市民相談の充実 (6) 迅速・適切な行政サービス (11) 農業の振興 (35) 生涯学習環境の充実

図表6 現状の充足度と今後の重要度の項目別比較

設問項目	現状の充足度	今後の重要度
(1) 地域防犯	2.49	4.50
(2) 地域防災	2.54	4.45
(3) 災害への備え	1.87	4.44
(4) 消防・救急体制の充実	3.06	4.53
(5) 市民相談の充実	2.74	3.95
(6) 迅速・適切な行政サービス	2.68	4.12
(7) 公共交通の充実	2.05	3.95
(8) ごみの減量・リサイクル	3.46	4.41
(9) 地球環境の保全	3.07	4.34
(10) 公害の抑制	3.04	4.46
(11) 農業の振興	3.00	3.61
(12) 観光の振興	2.58	3.38
(13) 雇用の場の確保	2.16	3.95
(14) 商店街の活性化	2.07	3.94
(15) 社会保障制度の充実	3.22	4.62
(16) 福祉相談体制の整備	2.75	4.37
(17) 健康づくり	2.90	4.21
(18) 地域医療体制の整備	3.03	4.61
(19) 障害者の生活支援	2.85	4.32
(20) 高齢者の生きがいづくり	2.77	4.31
(21) 高齢者の生活支援	2.88	4.42
(22) 保育サービスの充実	2.76	4.30
(23) 子育て支援の充実	2.78	4.27
(24) 安全な道路・歩行空間の整備	2.53	4.36
(25) 下水道の整備	2.83	4.34
(26) 河川の整備	3.03	4.37
(27) 良好な住宅環境	3.05	4.17
(28) 秩序あるまちなみの形成	2.35	4.04
(29) 駅前・市街地の活性化	1.78	3.96
(30) 公園整備・緑化の推進	2.43	4.05
(31) 安全な水の安定供給	3.91	4.55
(32) 多様な教育の推進	2.69	4.40
(33) 教育環境の充実	2.94	4.38
(34) 安全な通学の確保	2.79	4.51
(35) 生涯学習環境の充実	2.68	3.97
(36) 図書館機能の充実	2.38	3.89
(37) スポーツ・レクリエーションの充実	2.43	3.66
(38) 男女共同参画の推進	2.58	3.63
(39) 青少年の育成	2.58	3.85
(40) 文化・交流活動の活性化	2.53	3.44
(41) 市民への情報提供	2.44	4.15
(42) 市民活動の活性化	2.56	3.82
(43) 効率的な行財政運営	2.40	4.15
(44) 公平・適正な課税・収納	2.15	4.42
(45) 議会情報の公開	2.41	4.06
全項目の平均値	2.67	4.17

図表7 現状の充足度と今後の重要度のマトリクス（散布図）



2 - 4 江南市の将来の姿について

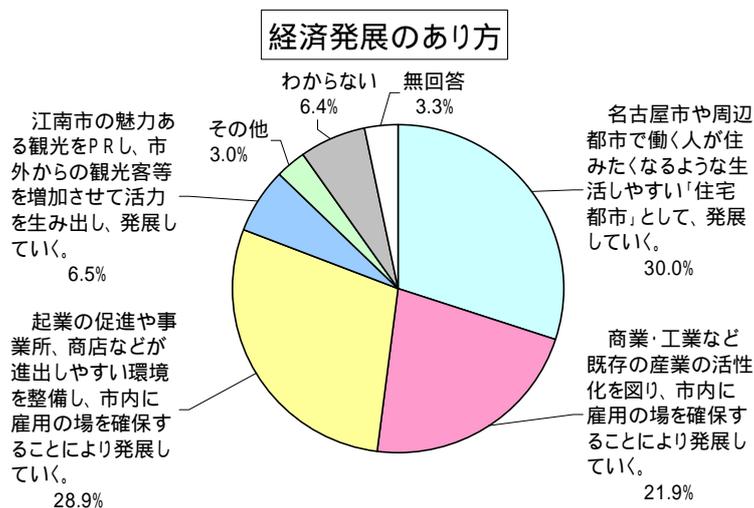
(1) 経済発展のあり方について

国や県に頼ることなく、地域で考え、自立を図っていかなければ、地域の経済発展は望めない時代となってきています。

こうした状況下における江南市の経済発展のあり方についての意向は、「生活しやすい「住宅都市」として発展していく。」が30.0%、次いで、「起業の促進等により市内に雇用の場を確保することにより発展していく。」が28.9%となっており、最も少ない回答は、「観光客等を増加させて活力を生み出し、発展していく。」の6.5%となっています。

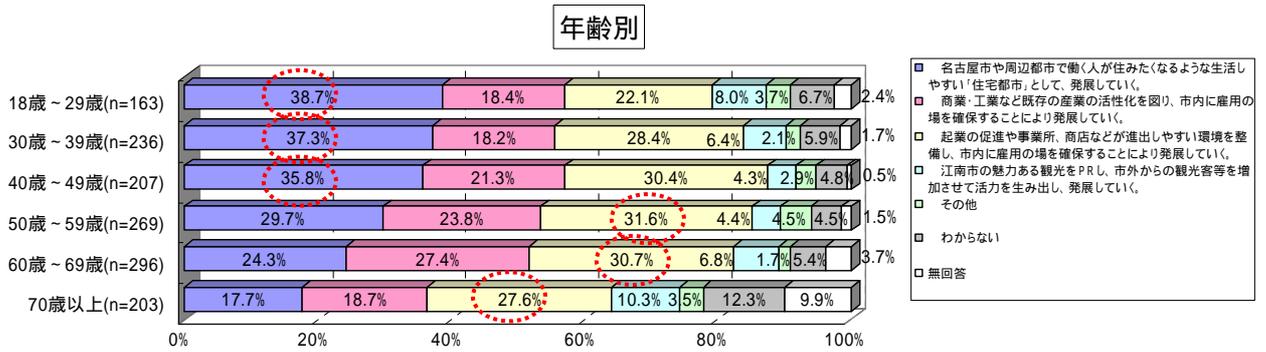
経済発展のあり方 回答数 構成比

経済発展のあり方	回答数	構成比
名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい「住宅都市」として、発展していく。	413	30.0%
商業・工業など既存の産業の活性化を図り、市内に雇用の場を確保することにより発展していく。	302	21.9%
起業の促進や事業所、商店などが進出しやすい環境を整備し、市内に雇用の場を確保することにより発展していく。	398	28.9%
江南市の魅力ある観光をPRし、市外からの観光客等を増加させて活力を生み出し、発展していく。	90	6.5%
その他	41	3.0%
わからない	88	6.4%
無回答	46	3.3%
合計	1,378	100.0%



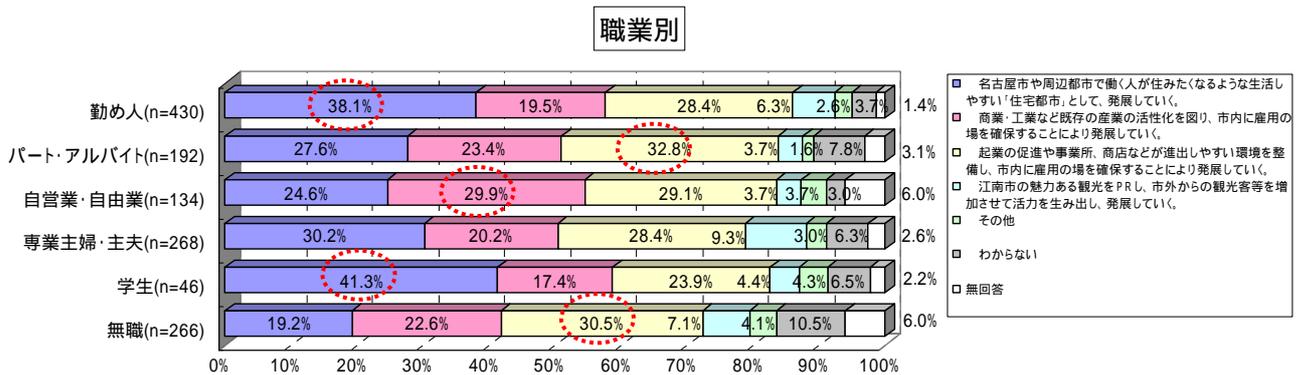
江南市の経済発展のあり方について年齢別の回答割合をみると、年齢が低いほど「名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい「住宅都市」として、発展していく。」の割合が高くなる傾向にあります。

また、50歳以上では「起業の促進や事業所、商店などが進出しやすい環境を整備し、市内に雇用の場を確保することにより発展していく。」の割合が他の選択肢よりも高くなっています。



職業別にみると、勤め人や学生は「名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい「住宅都市」として、発展していく。」の回答割合が高くなっています。

また、パート・アルバイトおよび無職は、「起業の促進や事業所、商店などが進出しやすい環境を整備し、市内に雇用の場を確保することにより発展していく。」の回答割合が高く、自営業・自由業は「商業・工業など既存の産業の活性化を図り、市内に雇用の場を確保することにより発展していく。」の回答割合が高くなっています。



経済発展のあり方についての「その他の意見」(主な意見)

経済発展のあり方の折衷案を挙げる意見

- ・ とを共にバランス良く、最良の質で提供できる地域になるべく、行政も市民も努力している。それが目で見てわかるまちである。
- ・ ～を調和させながら同時進行が望ましい。
- ・ と並行して、生活しやすい環境を創出して欲しい。
- ・ 共に必要と思われる。
- ・ に加え、高齢者が生きがいを持って働ける場をつくる。

江南市の特色を求める意見

- ・ 江南市独自の企業を誘致して、法人税収入を確保する等の大改革が必要である。
- ・ ベットタウンとして発展するとともに、一方で国際交流などの文化活動を行い、住宅都市 + のまちを目指す。
- ・ 江南市としての特色ある、他市、他県とは違うもの(条例や雇用政策、補助)をつくり、他の人々が江南市へ住みたいと思う環境づくりをする。学校の発展、英語力の強化等の特色をつくる。
- ・ 安全な治安の下、農業、工業、工芸、芸術等を通してクリエイティブな芽を養う環境が生活圏内(徒歩生活圏)で整えば、おのずと前向きな活力へと繋がっていく。そこに人がいるということが大切。

産業の発展についての意見

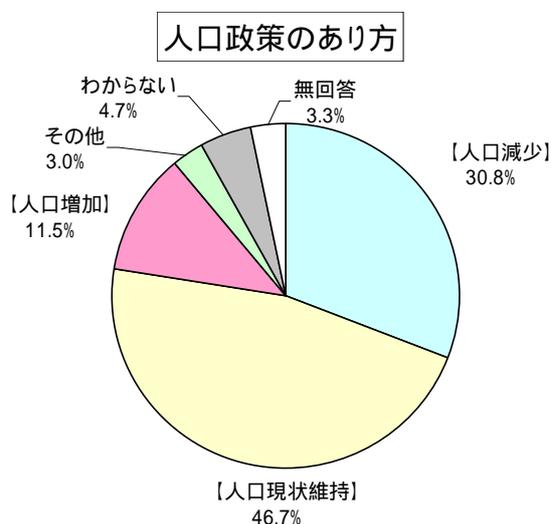
- ・ 優良企業を市内進出してもらいたい。
- ・ 工場を誘致してほしい。
- ・ 商工業だけではなく、農業の振興も図り、かつ、住みやすい生活しやすい住宅バランスの取れた発展を図る。
- ・ 商業、工業など既存の産業の技術を向上させて、他地域に負けないよう努力すべき。

(2) 人口政策のあり方について

江南市の人口は、10年間で微増から横ばいになってきており、将来的には現在の人口の約10万人から減少し、かつ高齢化が進むことが予想されます。

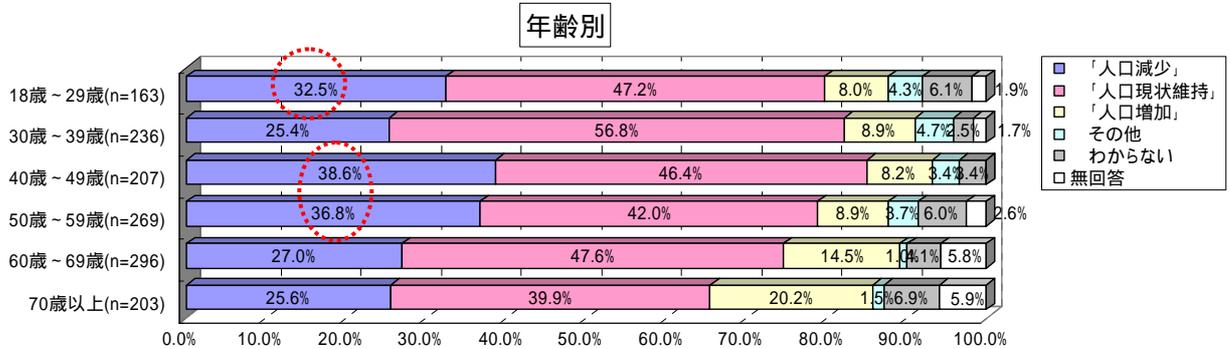
こうした状況下における江南市の人口政策のあり方についての意向は、「人口現状維持」が46.7%と最も多く、次いで「人口減少」が30.8%となっており、最も少ない回答は、「人口増加」の11.5%となっています。

人口政策のあり方	回答数	構成比
全国的に人口が減少していくのであれば、江南市でも人口が10万人から減少していくのはやむを得ないので、高齢化社会に備えたまちづくりに取り組む。【人口減少】	425	30.8%
少子高齢化が進む中、現在の10万人の人口規模を維持するために、子どもが増え、若い世代の転入が増加するよう取り組む。【人口現状維持】	643	46.7%
人口減少時代にあっても、江南市では10万人から人口が大きく増加するよう、市民の負担が増加しても住宅政策、福祉政策、社会基盤整備などをこれまで以上に充実させ、都市規模を拡大するよう取り組む。【人口増加】	159	11.5%
その他	41	3.0%
わからない	65	4.7%
無回答	45	3.3%
合計	1,378	100.0%

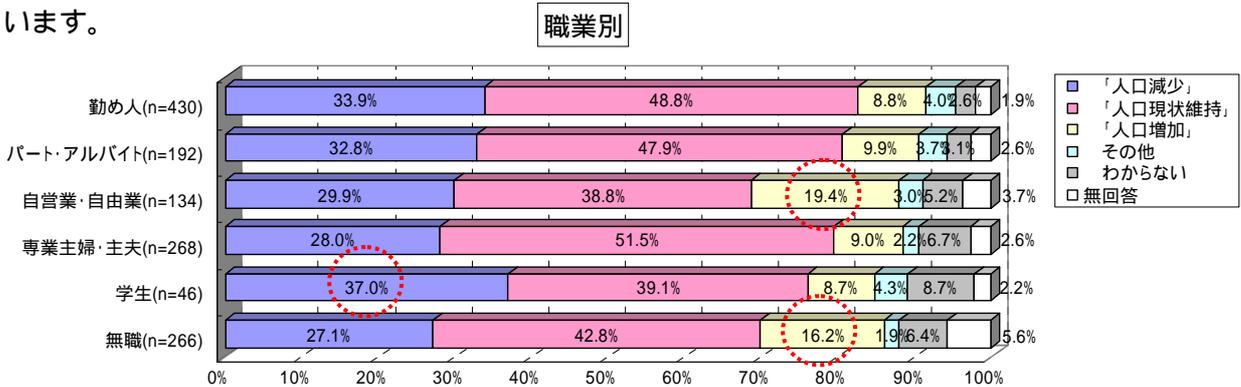


江南市の人口政策のあり方について年齢別の回答割合をみると、「人口減少」を挙げる割合は、18歳～29歳、40歳～49歳および50歳～59歳において、他の年齢階層より高くなっています。

また、「人口増加」を挙げる割合は、概ね年齢が高いほど大きくなる傾向にあります。



職業別の回答割合をみると、学生の方は「人口減少」を挙げる割合が比較的高く、自営業・自由業や無職の方は「人口増加」を挙げる割合が、他の職業の方より高くなっています。



人口政策についての「その他の意見」(主な意見)

人口増加に向けた意見

- ・ 企業を増やし、活性化させれば、人口は増加する。
- ・ 企業誘致の支援策を打ち出し、まず若年層の流出を止める。その後、流入人口の生活支援策も拡大する。
- ・ 市民を大事にする行政により、住みたくなる市になると思う。
- ・ 微増から現状維持で人口が推移し、若夫婦の転入などを含め、子どもの割合を増やしていく政策が必要。結婚しやすい社会、子どもを産み、育てやすい地域環境づくりが必要。
- ・ 調整区域が多いため、今後開発や市街化区域による住宅分譲地開発を進めることによる人口増加が必要。

- ・ 時世に合った考えを軸に、小さな事案から改善し、市外の人たちが住んでみたい市と思えるようにする。

- ・ 現在の人口には関係なく、働きやすく住みやすい環境により、人口は変動すると思う。

- ・ 名古屋のベッドタウン的な所になり、若く働く人々を増やすようにする。

人口減少、少子高齢化に関する意見

- ・ 人口減少はやむを得ない。高齢者が働くことができる職場確保が重要。
- ・ 人口減少はやむを得ないが、子どもを持ちたい人が持ちたいと思ったときに安心して出産・育児できる環境を整えることが必要だと思う。

市町村合併に関する意見

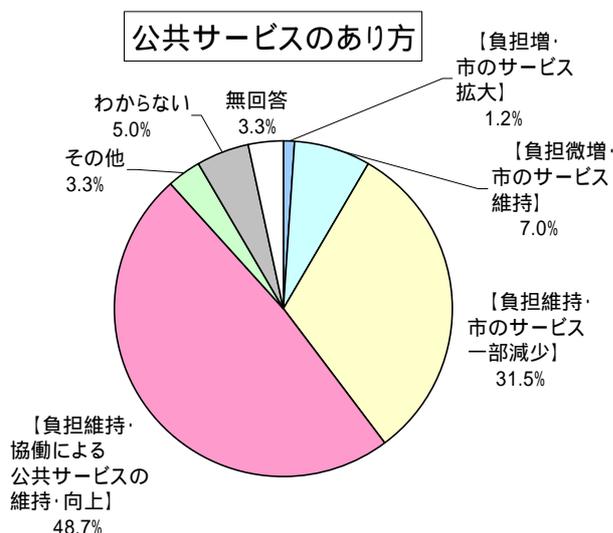
- ・ もっと団地やマンションを造ってもらえ、合併に向けて話し合いをする。
- ・ 人口が減少しているのであれば、増加している市町村との合併も視野に入れて、増加していくことを考えて欲しい。「江南市の長短」を合併で乗り切りたい。

(3) 公共サービスのあり方について

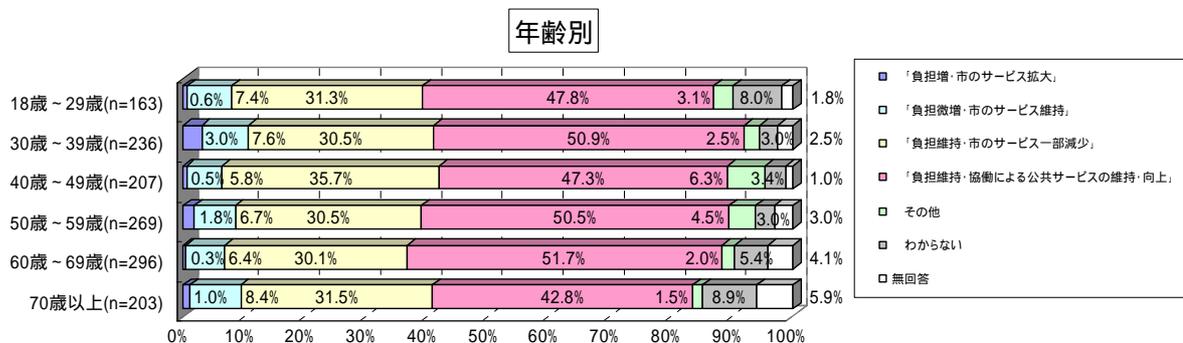
今後、人口減少・少子高齢化社会を迎えることになると、増加する高齢世代を、減少する若い世代で支えていくことが必要となります。

こうした状況下における江南市の公共サービスのあり方についての意向は、「負担維持・協働によるサービス維持・向上」が48.7%と最も多く、次いで「負担維持・市のサービス一部減少」が31.5%となっており、最も少ない回答は、「負担増・市のサービス拡大」の1.2%となっています。

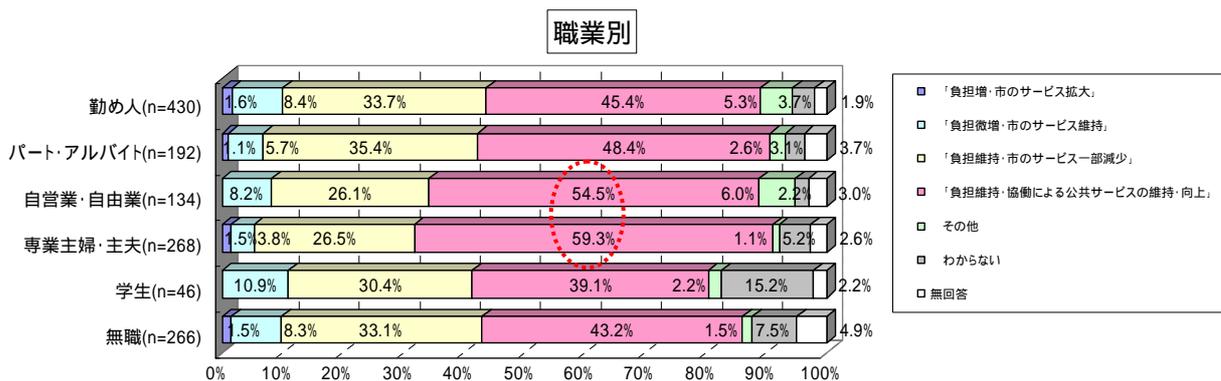
公共サービスのあり方	回答数	構成比
税・公的保険料などの市民負担を大きく増やして、市が提供するサービスを拡大する。【負担増・市のサービス拡大】	17	1.2%
税・公的保険料などの市民負担を増やして、市が提供するサービスを維持する。【負担微増・市のサービス維持】	96	7.0%
税・公的保険料などの市民負担は増やさず、財源の制約内でメリハリのあるサービスを提供する。【負担維持・市のサービス一部減少】	434	31.5%
税・公的保険料などの市民負担は増やさず、自分たちでできることは自分で行い、また互いに協力し合って地域に貢献することにより、公共サービス全体としての水準を維持・向上させる。【負担維持・協働によるサービス維持・向上】	672	48.7%
その他	45	3.3%
わからない	69	5.0%
無回答	45	3.3%
合計	1,378	100.0%



江南市の公共サービスのあり方について年齢別の回答割合をみると、どの年齢層もおおむね同程度の回答割合となっています。



職業別にみると、自営業・自由業および専業主婦・主夫は、「税・公的保険料などの市民負担は増やさず、自分たちでできることは自分で行い、また互いに協力し合って地域に貢献することにより、公共サービス全体としての水準を維持・向上させる【負担維持・協働にサービス維持・向上】」を挙げる割合が、他の職業よりも高くなっています。



公共サービスのあり方についての「その他の意見」(主な意見)

財源確保に関する意見

- ・ 税金の使い道を見直して欲しい。無駄な公共事業は一切やめて欲しい。その上で、どのくらい市民の負担が増えるのか、示して欲しい。
- ・ 市職員の削減、組織のスリム化を徹底、それから市民負担として市民一人一人が出来ることは互いに協力しあい、地域に貢献する。
- ・ 議員や職員を減らし、財源の歳出を見直す。
- ・ 民間に委託して人件費などを減少させることにより、サービスを維持する。
- ・ ムダ・ムリをなくすこと。
- ・ 行政サービスは必要最小限とすべき。
- ・ 人を増やし、企業を誘致して、税収入が増加する積極策をとるべき。市政を経営と考えて。
- ・ 税金の未回収分をまず回収すべき。

市民の負担に関する意見

- ・ ある程度の市民負担の増加はやむを得ないが、財源の使い方にはメリハリをつけた方が良い。
- ・ 公的保険料などの市民負担を少しだけ増やし、財源の制約内でメリハリのあるサービスを提供し、市民も努力できるところは協力していくことが望ましい。税金をムダには使って欲しくないなので、節約できる所は見直す。市民税、固定資産税、国保、介護、全てを高くするのはダメ。負担にならない程度。
- ・ 助成金など見直しが必要と思う。自助努力を求める勇気が大切と思う。老人の活用を遠慮なく打ち出したらどうか。

公共サービスの効率化・透明性に関する意見

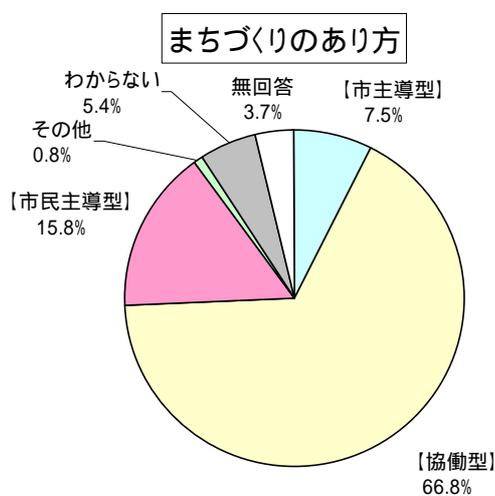
- ・ 歳出に対する事業効果を常に評価し、収入に見合った効率的な行政サービスを提供する。評価は外部機関が実施。
- ・ 費用対効果とCS活動を行い、展開を見習い、税の公正、透明化を図った使途とすべき。
- ・ 構造改革の進捗状況を、数値による公表や、他市町村との比較により公開する。
- ・ 他の市町と協力していくことが重要。

(4) まちづくりのあり方について

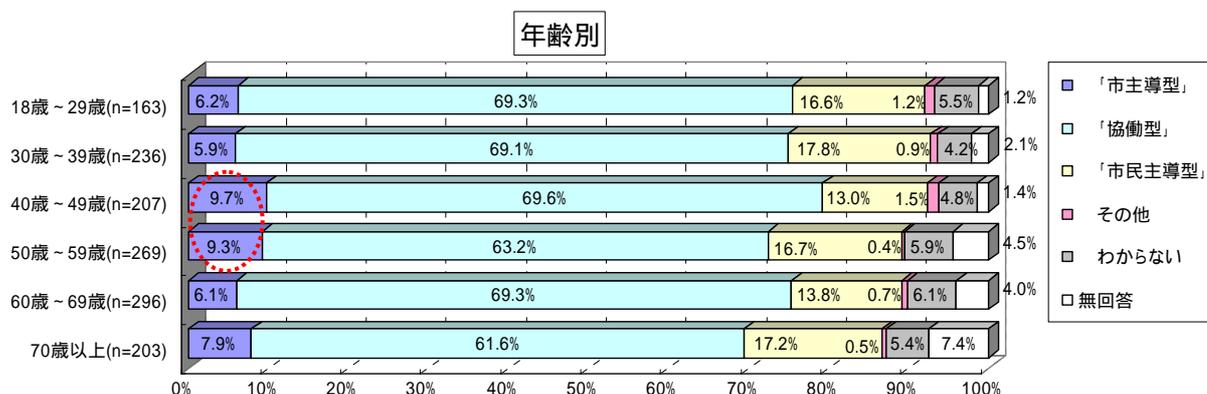
人口伸び率の鈍化・減少、少子高齢化の進展、経済低成長など社会構造が大きく転換し、江南市をとりまく環境はますます厳しくなること予想されます。

こうした状況下における江南市のまちづくりのあり方についての意向は、「協働型」が66.8%と最も多く、次いで「市民主導型」が15.8%となっており、最も少ない回答は、「市主導型」の7.5%となっています。

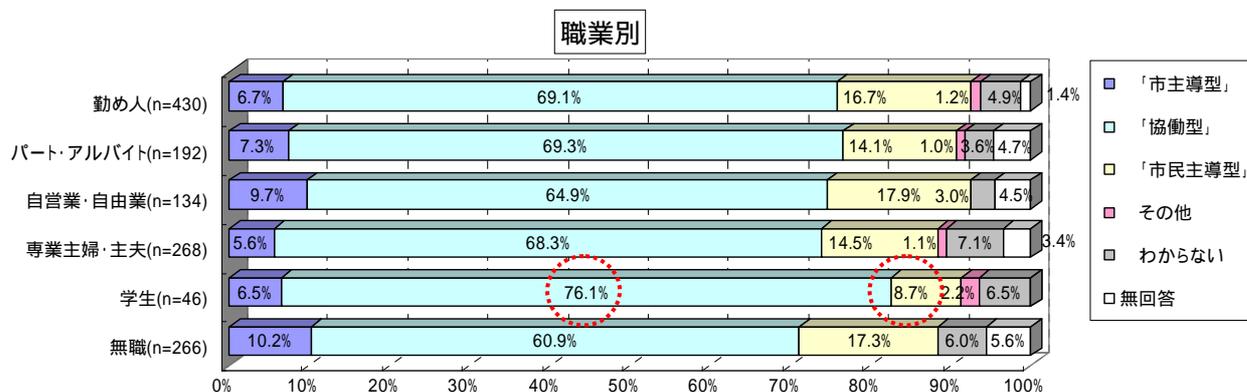
まちづくりのあり方	回答数	構成比
市がまちづくりの方向性を決め、まちづくりを実践する。【市主導型】	104	7.5%
市が中心となり、市民、企業、市民団体などが一緒になってまちづくりの方向性を決め、役割分担しながらまちづくりを進める。【協働型】	921	66.8%
市民が中心となり、市がそれをサポートしながら、まちづくりの方向性を決め、まちづくりを実践する。【市民主導型】	217	15.8%
その他	11	0.8%
わからない	74	5.4%
無回答	51	3.7%
合計	1,378	100.0%



江南市のまちづくりのあり方について年齢別の回答割合をみると、40歳～49歳および50歳～59歳の方は「市がまちづくりの方向性を決め、まちづくりを実践する【市主導型】」の回答割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



職業別にみると、学生は「市が中心となり、市民、企業、市民団体などが一緒になってまちづくりの方向性を決め、役割分担しながらまちづくりを進める【協働型】」の割合が多く、「市民が中心となり、市がそれをサポートしながら、まちづくりの方向性を決め、まちづくりを実践する【市民主導型】」の割合が少なくなっています。



まちづくりのあり方についての「その他の意見」(主な意見)

- ・市の団体(商工会議所など)が中心となり、市民に報告しながらまちづくりを進める。
- ・方向性は市民が中心で決め、それを市が責任を持って実行する。市はサポートではなく全責任を持って動く。
- ・今働いている人、他から越してきた人、そして周囲の意見をもっと取り込む。

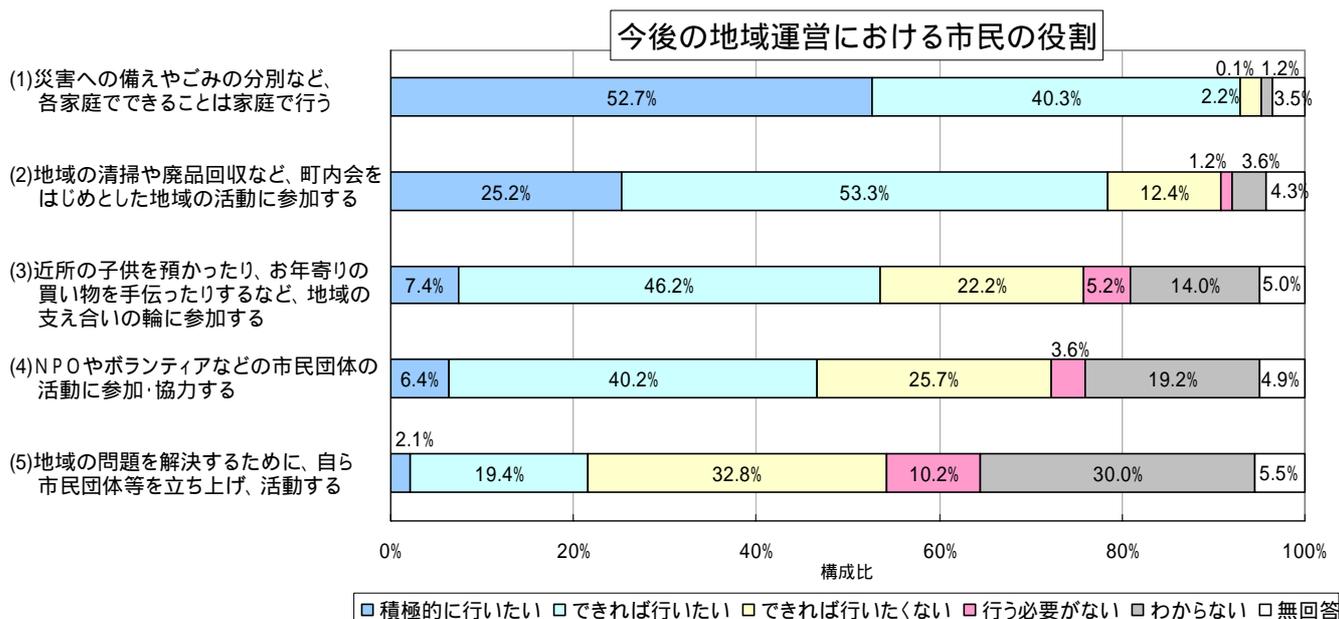
(5) 今後の地域運営における市民の役割について

今後の豊かな市民社会の実現のためには、地域としての自立が求められることから、行政と市民の役割が変化していく必要が考えられます。

こうした状況下において、市民がどのような役割を担うかについての積極的な意向（「積極的に行いたい」の回答割合）は、「(1)各家庭でできることは家庭で行う」が52.7%と最も多く、次いで「(2)町内会などの地域の活動に参加する」が25.2%となっており、最も積極的な意向が少ない回答は、「(5)自ら市民団体等を立ち上げ活動する」の2.1%となっています。

今後の地域運営における市民の役割について

		積極的に 行いたい	できれば 行いたい	できれば 行いたくない	行う必要 はない	わから ない	無回答	合計
(1)	災害への備えやごみの分別など、各家庭でできることは家庭で行う	727	555	30	1	16	49	1,378
		52.7%	40.3%	2.2%	0.1%	1.2%	3.5%	100.0%
(2)	地域の清掃や廃品回収など、町内会をはじめとした地域の活動に参加する	347	734	171	17	50	59	1,378
		25.2%	53.3%	12.4%	1.2%	3.6%	4.3%	100.0%
(3)	近所の子供を預かったり、お年寄りの買い物を手伝ったりするなど、地域の支え合いの輪に参加する	102	637	306	72	192	69	1,378
		7.4%	46.2%	22.2%	5.2%	14.0%	5.0%	100.0%
(4)	NPOやボランティアなどの市民団体の活動に参加・協力する	88	554	354	50	264	68	1,378
		6.4%	40.2%	25.7%	3.6%	19.2%	4.9%	100.0%
(5)	地域の問題を解決するために、自ら市民団体等を立ち上げ、活動する	29	267	452	141	413	76	1,378
		2.1%	19.4%	32.8%	10.2%	30.0%	5.5%	100.0%



2 - 5 広報こうなんについて

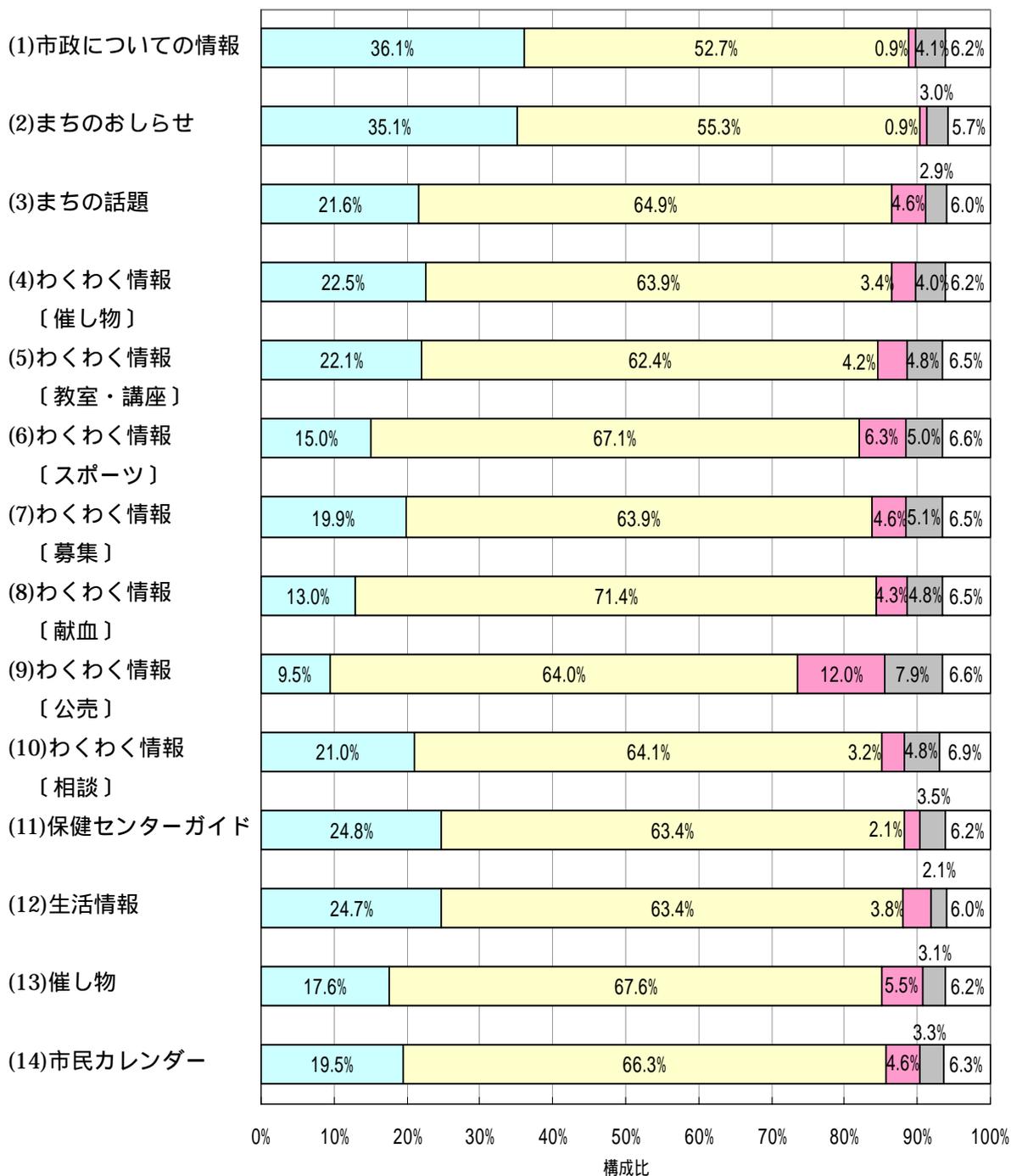
市は広報こうなんを月 1 回の発行に変更し、掲載内容の充実を図るように努めています。

広報こうなんの掲載記事について、充実させた方がよいとの意向（回答割合）は、「(1) 市政についての情報」が 36.1%と最も多く、次いで「(2)まちのおしらせ」が 35.1%となっており、最も充実させた方がよいとの意向が少ないのは「(9)わくわく情報（公売）」の 9.5%となっています。

広報こうなんについて

	充実させた方がよい	現状のままでよい	不要である	わからない	無回答
(1) 市政についての情報 新しい施策等の紹介	497	727	12	56	86
	36.1%	52.7%	0.9%	4.1%	6.2%
(2) まちのおしらせ 行政サービスの紹介	483	762	12	42	79
	35.1%	55.3%	0.9%	3.0%	5.7%
(3) まちの話題 市内のまつり、イベントを 写真で紹介	298	894	63	40	83
	21.6%	64.9%	4.6%	2.9%	6.0%
(4) わくわく情報〔催し物〕 各種催し物の案内	310	880	47	55	86
	22.5%	63.9%	3.4%	4.0%	6.2%
(5) わくわく情報〔教室・講座〕 各種教室、講座、講習会の案内	305	860	57	66	90
	22.1%	62.4%	4.2%	4.8%	6.5%
(6) わくわく情報〔スポーツ〕 各種スポーツ大会の案内	207	925	87	68	91
	15.0%	67.1%	6.3%	5.0%	6.6%
(7) わくわく情報〔募集〕 各種催し物・教室の参加者募集	274	880	64	71	89
	19.9%	63.9%	4.6%	5.1%	6.5%
(8) わくわく情報〔献血〕 献血会場・日時のご案内	179	984	60	66	89
	13.0%	71.4%	4.3%	4.8%	6.5%
(9) わくわく情報〔公売〕 公売物件・日時・場所のご案内	131	882	165	109	91
	9.5%	64.0%	12.0%	7.9%	6.6%
(10) わくわく情報〔相談〕 各種相談の案内	289	884	44	66	95
	21.0%	64.1%	3.2%	4.8%	6.9%
(11) 保健センターガイド	341	874	29	48	86
	24.8%	63.4%	2.1%	3.5%	6.2%
(12) 生活情報 休日診療、ごみカレンダー、 すいとぴあ江南予約状況などの案内	341	873	53	29	82
	24.7%	63.4%	3.8%	2.1%	6.0%
(13) 催し物 市民文化会館、すいとぴあ江南、 地域情報センターの催し物の案内	243	932	75	42	86
	17.6%	67.6%	5.5%	3.1%	6.2%
(14) 市民カレンダー 月間の催し物を一覧表で案内	269	914	63	45	87
	19.5%	66.3%	4.6%	3.3%	6.3%

広報こうなんについて



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
構成比

充実させた方がよい
 現状のままでよい
 不要である
 わからない
 無回答

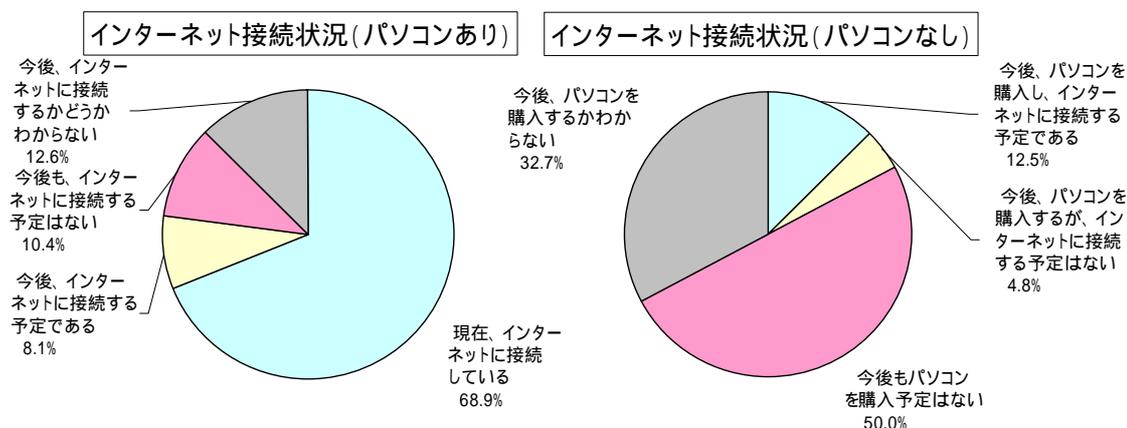
2 - 6 市のホームページについて

(1) インターネット接続状況

市は、市のホームページを通じて、情報をいち早く提供できるよう、ホームページの充実に努めています。

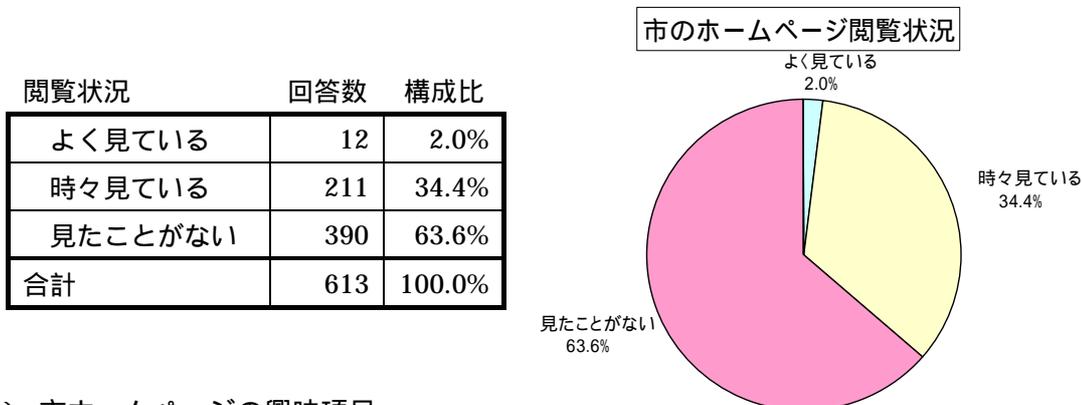
インターネットへの接続状況は、パソコンをお持ちの方（890人）では、「接続している」が68.9%と最も多く、最も少ない回答が「接続する予定である」の8.1%となっています。また、パソコンをお持ちでない方（272人）では、「今後もパソコン購入予定はない」が50.0%と最も多く、最も少ない回答が「今後、パソコンを購入するが、インターネットに接続する予定はない」の4.8%となっています。

インターネット接続状況	回答数	構成比
現在、インターネットに接続している	613	68.9%
今後、インターネットに接続する予定である	72	8.1%
今後もインターネットに接続する予定はない	93	10.4%
今後、インターネットに接続するかどうか分からない	112	12.6%
小計	890	100.0%
今後、パソコンを購入し、インターネットに接続する予定である	34	12.5%
今後、パソコンを購入するが、インターネットに接続する予定はない	13	4.8%
今後もパソコンの購入予定はない	136	50.0%
今後、パソコンを購入するかわからない	89	32.7%
小計	272	100.0%
無回答	216	
合計	1,378	



(2) 市ホームページの閲覧状況

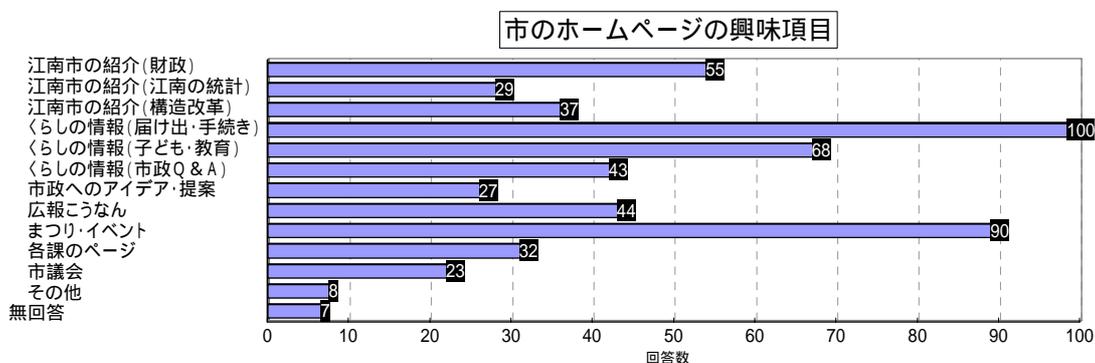
ホームページの閲覧状況については、「 見たことがない」との回答が 63.6%と最も多く、最も少ない回答が「 よく見ている」の 2.0%となっています。



(3) 市ホームページの興味項目

市ホームページの興味項目については、「 暮らしの情報(届け出・手続き)」の回答が 100 人と一番多く、次いで「 まつり・イベント」「 暮らしの情報(子ども・教育)」の順になっています。「 市議会」の割合が最も少なく 23 人となっています。

興味項目	回答数
江南市の紹介(財政)	55
江南市の紹介(江南の統計)	29
江南市の紹介(構造改革)	37
暮らしの情報(届け出・手続き)	100
暮らしの情報(子ども・教育)	68
暮らしの情報(市政のQ & A)	43
市政へのアイデア・提案	27
広報こうなん	44
まつり・イベント	90
各課のページ	32
市議会	23
その他	8
無回答	7
合計	563



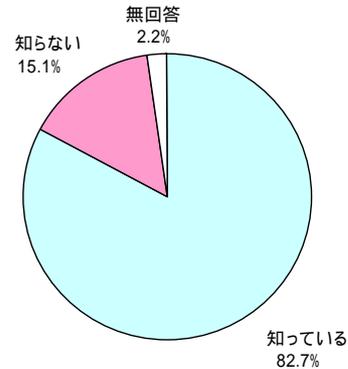
2 - 7 交通災害共済制度について

(1) 交通災害共済制度の認知度

交通災害共済制度の認知度については、「知っている」が82.7%、「知らない」の割合が15.1%となっています。

認知度	回答数	構成比
知っている	1,139	82.7%
知らない	208	15.1%
無回答	31	2.2%
合計	1,378	100.0%

交通災害共済制度の認知度

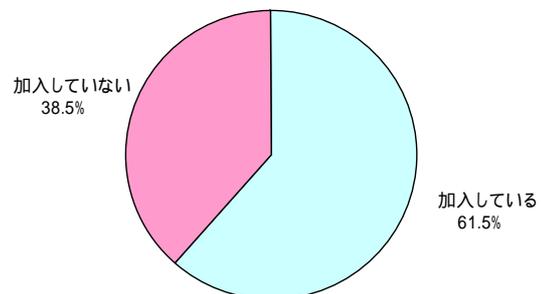


(2) 交通災害共済制度の加入の有無

交通災害共済制度の加入の有無については、「加入している」が61.5%、「加入していない」の割合が38.5%となっています。

加入の有無	回答数	構成比
加入している	700	61.5%
加入していない	439	38.5%
合計	1,139	100.0%

交通災害共済制度の加入の有無

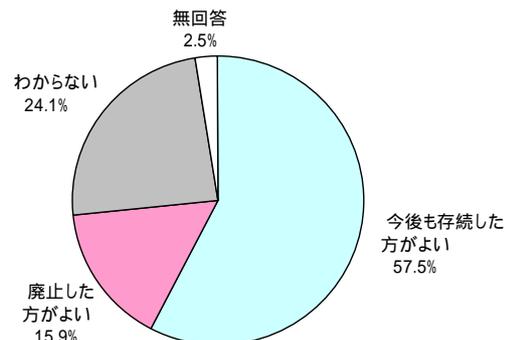


(3) 交通災害共済制度の存続

交通災害共済制度の存続については、「今後も存続した方がよい」の割合が一番高く57.5%、「廃止した方がよい」の割合が最も少なく15.9%となっています。

存続	回答数	構成比
今後も存続した方がよい	792	57.5%
廃止した方がよい	219	15.9%
わからない	332	24.1%
無回答	35	2.5%
合計	1,378	100.0%

交通災害共済制度の存続



2 - 8 自由意見について

総回答数 1,378 票の約 35%にあたる 485 の方が自由意見を記入しており、市政への関心の高さがうかがえる結果となっています。

1 人の回答者の方が項目を分けて記載している場合は、項目ごとに件数をカウントしています。

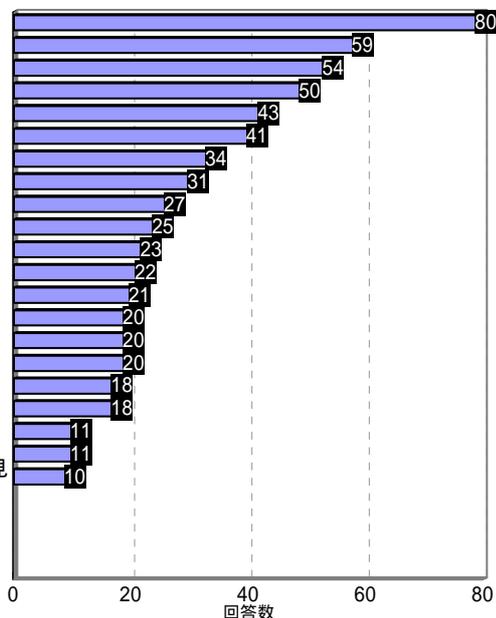
自由意見の内訳をみると、「市街地整備・活性化に関する意見、要望」が 80 人と一番多く、次いで「まちづくり全般に関する意見、要望」が 59 人、「行財政運営に関する意見、要望」が 54 人となっています。

自由意見の項目別割合

自由意見項目	件数
市街地整備・活性化に関する意見、要望	80
まちづくり全般に関する意見、要望	59
行財政運営に関する意見、要望	54
公共交通に関する意見、要望	50
子育てに関する意見、要望	43
公園・緑地等に関する意見、要望	41
交通安全対策に関する意見、要望	34
生涯教育・文化・スポーツ振興に関する意見、要望	31
公衆衛生・公害・美化など生活環境に関する意見、要望	27
道路交通に関する意見、要望	25
産業活性化に関する意見、要望	23
災害対策・下水道整備に関する意見、要望	22
ごみ・リサイクルに関する意見、要望	21
防犯対策に関する意見、要望	20
駅や公共施設のバリアフリー化に関する意見、要望	20
議会・議員に関する意見、要望	20
高齢者福祉に関する意見、要望	18
イベント・観光対策に関する意見、要望	18
学校教育に関する意見、要望	11
医療・福祉全般に関する意見、要望	11
市民意見の反映・市民参加・市民協働に関する要望、意見	10
住宅政策に関する意見、要望	9
市町村合併に関する意見、要望	9
アンケート内容に対する意見・要望	8
その他	48
合計	712

自由意見

- 市街地整備・活性化に関する意見、要望
- まちづくり全般に関する意見、要望
- 行財政運営に関する意見、要望
- 公共交通に関する意見、要望
- 子育てに関する意見、要望
- 公園・緑地等に関する意見、要望
- 交通安全対策に関する意見、要望
- 生涯教育・文化・スポーツ振興に関する意見、要望
- 公衆衛生・公害・美化など生活環境に関する意見、要望
- 道路交通に関する意見、要望
- 産業活性化に関する意見、要望
- 災害対策・下水道整備に関する意見、要望
- ごみ・リサイクルに関する意見、要望
- 防犯対策に関する意見、要望
- 駅や公共施設のバリアフリー化に関する意見、要望
- 議会・議員に関する意見、要望
- 高齢者福祉に関する意見、要望
- イベント・観光対策に関する意見、要望
- 学校教育に関する意見、要望
- 医療・福祉全般に関する意見、要望
- 市民意見の反映・市民参加・市民協働に関する要望、意見
- 住宅政策に関する意見、要望
- 市町村合併に関する意見、要望
- アンケート内容に対する意見・要望
- その他



第3章 調査のまとめ

定住意識について

本市を「住みやすい」と感じている市民は約75%であり、居住年数が長いほどその傾向は強まっています。また、「今後も市内に住み続けたい」と考える市民は約66%であり、年齢が高いほどその傾向は強まっています。また、学生の方や18歳～29歳の方など比較的若い世代の定住意向は約3割と低い傾向にあります。

一方で、「市外に移る予定である」または「できれば市外に移りたい」と考えている市民は約13%おり、その理由として、「都市基盤整備が遅れている」、「通勤や通学に不便」および「買い物や娯楽を楽しめる環境でない」等を挙げています。これらの理由は性別や年齢等により傾向が異なっていることから、市民のライフスタイルの変化（就職、結婚、定年退職等）に伴い、求める生活環境が異なっていることを示していると考えられます。

設問項目（江南市の理想的な姿）の優先性に対する意向について

全体的な傾向として、「現状の充足度」と「今後の重要度」が共に高い項目や、「現状の充足度」と「今後の重要度」が共に低い項目が多いことから、これまでに市が実施してきた施策の方向性は、市民のニーズと概ね一致していたものとうかがえます。

「現状の充足度」が低く「今後の重要度」が高い施策としては、「(1)地域防犯」、「(2)地域防災」、「(3)災害への備え」および「(24)安全な道路・歩行空間の整備」のように、生活の安全・安心に関連する設問項目が分類されており、今後これらを優先的に取り組んでいくことが望まれているといえます。

また、「(44)公平・適正な課税・収納」も、「現状の充足度」が低く「今後の重要度」が高いことから、税金の使われ方に関心が高いことがうかがわれます。

また、「(11)農業の振興」は「現状の充足度」が高く「今後の重要度」が低いいため、多くの市民が今後優先的に取り組む必要が低い施策であると考えていることがうかがえます。

江南市の経済発展のあり方について

本市の将来の姿については、年齢が低いほど「名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい住宅都市として発展」を挙げる割合が高く、50歳以上においては「起業の促進や事業所、商店などが進出しやすい環境を整備し、市内の雇用場を確保することにより発展」を挙げる割合が高くなっています。

全体としては、「名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい住宅都市として発展」、「起業の促進や事業所、商店などが進出しやすい環境を整備し、市内に雇用場を確保することにより発展」とともに約3割の回答割合となっていることから、住宅と産業のバランスが取れた市の将来像を探っていく必要があるものと考えられます。

人口政策のあり方について

本市の人口政策については、「人口現状維持」(少子高齢化が進む中、現在の10万人の人口規模を維持するために、子どもが増え、若い世代の転入が増加するよう取り組む。)の回答が約47%と最も多くなっており、今後も人口を維持していくために、子育て環境の整備等の少子化対策や、働きやすく住みやすい生活環境の整備等への取り組みが望まれているといえます。

一方で、「人口減少」(全国的に人口が減少していくのであれば、江南市でも人口が10万人から減少していくのはやむを得ないので、高齢化社会に備えたまちづくりに取り組む。)の回答も約31%寄せられており、若い世代の生活を支援しつつ、高齢者社会に備えたまちづくりへの対応が求められています。

公共サービスのあり方について

今後の市の公共サービスのあり方については、「負担維持・協働によるサービス維持・向上」(税・公的保険料などの市民負担は増やさず、自分たちでできることは自分で行い、また互いに協力し合って地域に貢献することにより、公共サービス全体としての水準を維持・向上させる。)の回答が約49%と最も多くなっており、市民同士が互いに助け合う(共助)ことができるような仕組みづくりが求められているといえます。

まちづくりのあり方について

今後のまちづくりのあり方については、「協働型」(市が中心となり、市民、企業、市民団体などが一緒になってまちづくりの方向性を決め、役割分担しながらまちづくりを進める。)の回答が約67%と大半を占めています。従来型である「市主導型」の回答は約8%に留まっており、より積極的な「市民主導型」の回答も約16%を占めていることから、市民のまちづくりへの関心の高さと積極性が伺え、市民と共に考え行動できるような協働のまちづくりの仕組みづくりが求められているといえます。

今後の地域運営における市民の役割について

各設問に対して「積極的に行いたい」または「できれば行いたい」との積極的な回答があった割合は下記の通りとなっています。(3)や(4)のように地域住民の自主性・自発性が必要となる活動についても約半数の参加意欲があることから、今後の地域運営においても市民の積極的な参加が期待されます。

- | | |
|---|---------|
| (1) 災害への備えやごみの分別など、各家庭でできることは家庭で行う | : 約 93% |
| (2) 地域の清掃や廃品回収など、町内会をはじめとした地域の活動に参加する | : 約 79% |
| (3) 近所の子どもの預かたり、お年寄りの買い物を手伝ったりするなど、地域の支え合いの輪に参加する | : 約 54% |
| (4) NPOやボランティアなどの市民団体の活動に参加・協力する | : 約 47% |
| (5) 地域の問題を解決するために、自ら市民団体等を立ち上げ、活動する | : 約 22% |

広報こうなんについて

広報こうなんについては、「現状のままでよい」との回答が各項目とも約5割～7割を占めています。

「充実させた方がよい」との回答割合が比較的高い項目は、「市政についての情報」(約36%)、「まちのおしらせ」(約35%)、「保健センターガイド」(約25%)、「生活情報」(約25%)の順となっています。

市のホームページについて

市のホームページを「見たことがある」との回答は、回答者全体の約19%(無回答を除く1,162人中で223人)既にインターネットに接続している回答者の約36%(613人中で223人)となっています。

市ホームページの興味項目としては、「くらしの情報(届け出・手続き)」の回答数が100人と多く、次いで「まつり・イベント」90人、「くらしの情報(子ども・教育)」68人の順に多くなっています。

交通災害共済制度について

交通災害共済制度については、「知っている」との回答が約83%と高いものの、知っているが加入していないとの回答が約39%あることから、回答者全体の加入率は約52%(無回答を除く1,347人中で700人)となっています。

また、「今後も存続した方がよい」との回答は約58%であり、上記の加入率(約52%)を上回っています。

自由意見について

自由意見は回答者全体の約35%から回答があり、市政への関心の高さがうかがえる結果となっています。

寄せられた意見を分類すると、「市街地整備・活性化に関する意見、要望」、「まちづくり全般に関する意見、要望」、「行財政運営に関する意見、要望」などの意見が多く、将来のまちづくりに対する市民の関心の高さ、および期待の大きさがうかがえます。

自由意見の整理

市街地整備・活性化に関する意見、要望（80件）

- ・江南駅前再開発を進めるべき。駅前ロータリー、自転車置場、市営駐車場の整備など。
- ・市街地の活性化を推進すべき。駅前への大型商業施設の誘致など。
- ・商店街を再整備し活性化を図るべき。商店、居酒屋、遊べる場所を充実させるなど。

まちづくり全般に関する意見、要望（59件）

- ・江南市の考え方がよく分からないので、市の将来ビジョン等を示してほしい。
- ・周辺市町を参考にして、江南市の良さや特色をアピールするべき。
- ・官民一体のまちづくりが必要。
- ・高齢化により市を老朽化させないためにも、若い人に活躍の場を与えるべき。

行財政運営に関する意見、要望（54件）

- ・市民の税金の無駄遣いをなくし、財政を健全化してほしい。
- ・役所のスリム化を計るべき。
- ・道路工事が3月末日に集中するのを避けてほしい。
- ・市民税や固定資産税が高い。もっと下げてほしい。
- ・社会保険事務所・税務署などの公共施設の利便性を高めてほしい。

公共交通に関する意見、要望（50件）

- ・路線バスやいこまいCARをもっと充実させてほしい。
- ・駅や病院への交通アクセスが不十分。

子育てに関する意見、要望（43件）

- ・幼稚園・保育園を安く、充実させてほしい。保育園の延長保育有料化はやめるべき。
- ・子育て支援センターなどを充実すべき。

公園・緑地等に関する意見、要望（41件）

- ・公園が少ない。子供が安心して1日遊べる公園を作ってほしい。
- ・町全体もっと緑を増やすべき。

交通安全対策に関する意見、要望（34件）

- ・歩道の段差や凹凸を解消して、自転車・老人・車椅子が通行しやすくしてほしい。
- ・車道と歩道を分けてほしい。
- ・街路灯やカーブミラーを充実してほしい。
- ・交通災害共済は手続きを簡単にしてほしい。

生涯教育・文化・スポーツ振興に関する意見、要望（31件）

- ・図書館、体育館、プール等を充実させてほしい。
- ・すいとぴあ江南を活用してほしい。

公衆衛生・公害・美化など生活環境に関する意見、要望（27件）

- ・街路樹の剪定が不十分。
- ・市民の意識が低くマナーが悪い。ペットの糞の始末や、ゴミのポイ捨てなど。
- ・家庭用焼却炉や野焼きは、悪臭が出るため、やめさせるべき。

道路交通に関する意見、要望（25件）

- ・朝夕の交通渋滞を緩和してほしい。（特に駅前、愛岐大橋）
- ・駅周辺での駐車場を確保してほしい。
- ・鉄道の高架化により踏切渋滞を解消してほしい。
- ・道路が狭く入り組んでいるため、幹線道路の整備や道路の拡幅を進めてほしい。
- ・道路案内を判りやすくしてほしい。
- ・違法駐車を取り締まってほしい。

産業活性化に関する意見、要望（23件）

- ・商店街や工業を活性化してほしい。
- ・大企業を積極的に誘致し、雇用を増やしてほしい。

災害対策・下水道整備に関する意見、要望（22件）

- ・道路の冠水や家屋の床下浸水への対策をしてほしい。
- ・上下水道料金が安い。浄化槽の清掃代が高い。浄化槽の老朽化への対策が必要。
- ・下水道の整備が遅れている。悪臭がひどい。側溝に蓋を設置してほしい。

ごみ・リサイクルに関する意見、要望（21件）

- ・ごみの回収日が少ない。ごみ置場が遠い。住民のモラルが低い。
- ・不燃ごみの収集は市が担当すべき。市民がボランティアで行なう事が多すぎる。

防犯対策に関する意見、要望（20件）

- ・治安が悪い。ひったくりや通り魔が多い。子供の登下校が心配。
- ・派出所が駅のそばに無い。パトロールを強化してほしい。

駅や公共施設のバリアフリー化に関する意見、要望（20件）

- ・江南駅のバリアフリー化を進めてほしい。
- ・車椅子用のトイレが不足している店が多い。

議会・議員に関する意見、要望（20件）

- ・議員の数が多過ぎる。給料・経費・諸手当を見直し・廃止すべき。

高齢者福祉に関する意見、要望（18件）

- ・独居老人・高齢世帯をサポートしてほしい。
- ・定年後のボランティア参加を促進してほしい。
- ・老人福祉センターの名称を福祉センターにほしい。

イベント・観光対策に関する意見、要望（18件）

- ・文化的イベントへの市の理解が足りないと思う。
- ・観光の街にほしい。もっと楽しい行事（まつりなど）を行ってほしい。

学校教育に関する意見、要望（11件）

- ・人間の心づくりにお金を使うべき。市の将来の街づくりに繋がっていくと思う。
- ・学校教育関係には、もっとお金をかけるべき。

医療・福祉全般に関する意見、要望（11件）

- ・病院が遠方で通院に不便なため、新病院建設やアクセス交通を充実させてほしい。

市民意見の反映・市民参加・市民協働に関する要望、意見（10件）

- ・市の情報開示が必要である。NPO等市民参加のまちづくりを行なってほしい。
- ・市民の意識改革も大切である。市民会議を充実させる必要がある。
- ・市民の意見を取り入れ、どのように市政が変わったのか、もっとアピールしてほしい。

住宅政策に関する意見、要望（9件）

- ・調整区域などの制限を見直すべき。商業地なのか住宅地なのか中途半端な所が多い。
- ・江南団地を早期改築すべき。
- ・休耕田補助をやめて、農地を有効利用すべき。

市町村合併に関する意見、要望（9件）

- ・犬山・小牧・扶桑・大口・岩倉等と再度合併を検討すべき。

アンケート内容に対する意見・要望（8件）

- ・このアンケートが今後どのように市政に活かされたかを知りたい。
- ・アンケートを判りやすくしてほしい。

その他（48件）

- ・引越し来た住民にもやさしく接してほしい。
- ・無理をせずにやっていくべき。